

825
443

農商務省商務局調

佛、澳及匈國ニ於ケル家畜保險

生産調査會

327-442

緒言

言

本編ハ農商務技師伊藤萬太郎第六回萬國保險會議
列席ノ序ヲ以テ命ニ依リ實地ニ就キ調査ヲ遂ケ其
復命シタル事項ヲ編纂シタルモノナリ

明治四十四年三月

44. 4. 1

佛、奧及匈國ニ於ケル家畜保險

目次

一、佛蘭西國ニ於ケル家畜保險	
第一章 總說	一頁
第二章 大規模ニヨル家畜保險相互會社	三
第三章 小家畜保險組合	一九
第四章 小家畜保險組合ノ再保險	三四
二、奧太利及匈牙利國ニ於ケル家畜保險	
第一章 總說	五三
第二章 下奧國州立家畜保險所	五九
第三章 匈牙利國相互家畜保險組合	七七

佛國ニ於ケル家畜保險

第一章 總 說

佛國ニ於テハ大規模ニヨレル十二ノ家畜保險相互會社ト地方的小規模ヲ以テセル七千二百四十一ノ地方家畜保險小組合ト及ヒ五十三ノ家畜再保險組合アリテ家畜保險業ヲ營メリ（千九百八年六月一日現在數）

佛國家畜保險ノ特點ト保險料ヲ追課セサルニアリ故ニ收入能ク支出ニ充タサルトキハ毎ニ保險金ヲ削減シテ支拂ヲ爲スハ蓋シ止ムヲ得サル所ナリ即チ佛國ノ家畜所有者ハ低廉ナル保險料ニ慣レタルヲ以テ屢々株式會社カス業ヲ營ミ毎ニ失敗ニ終レリト云フ

千九百〇六年ニ行ハレタル家畜調査ノ結果ニヨレハ佛國ニ於ケル家畜數左ノ如シ

	頭 數	人口百人ニ對スル頭數
馬	三、一六五、〇二五 _頭	八・六 _頭
牛	一三、九六八、〇一四	三五・五

豚	七、〇四九、〇一二	一七・九
羊	一七、四六一、三九七	四四・五
山羊	一、四五六、八六六	三・七

之ヲ價格ニ見積ルトキハ約六十億法（我二十四億圓）アリトイフ

獸疫豫防ノ爲メ其撲殺ノ場合ニ官廳ヨリ補償スルノ制度ハ家畜保險ニ大關係アルモノナレハ今其大要ヲ左ニ摘記セントス

家畜傳染病規則ニヨリ牛疫、肺疫、結核ニ罹リ撲殺セラレ又ハ肺疫豫防注射ノ際ニ死亡シタルモノニハ左ノ補償金ヲ給與セラル

(イ) 牛^{リンゴット} 疫ノ際ハ其普通價格ノ四分ノ三

但其病ニ罹リシ爲メノ價格ノ減少ヲ論セス

(ロ) 肺^{ルンゲンライ} 疫ノ際ハ其普通價格ノ二分ノ一

但疫病傳播ノ場合ニハ四百法ヲ以テ限度トス

惡疫カ其廐舎以外ヨリ出テサルトキハ其普通價格ノ四分ノ三

但六百法ヲ限度トス

豫防注射ノ爲メ死亡シタルモノニハ其普通價格ノ全額

但八百法ヲ限度トス

(ハ) 結核ノ際

一、一般ニ蔓延シタルトキハ撲殺ノ際評定シタル價額ノ三分ノ一

但二百法ヲ最高額トス

二、一地方ニ止マリタルトキハ同價額ノ四分ノ三

但四百五十法ヲ最高額トス

三、若シ結核ナラサリシコトカ發見セラレタルモノニハ同全額

結核ナルコトヲ知ラスシテ屠殺シタルトキ屠肉検査ニ依リテ一部又ハ全部カ廢棄處分セラレ

タルモノニ對シテモ亦補償ス

(ニ) 馬鼻疽ノ際之カ爲メ官命ニ依リテ撲殺シタルトキハ其普通價格ノ四分ノ三

以上各項ノ場合ニ畜屍ヨリ收益アルトキハ其額ヲ控除シ補償セララルヘシ

第二章 大規模ニヨル家畜保險相互會社

ビチビエニ於ケル「ウニオン、ポーセロン」及「ドローニ於ケル「マターヌ」ノ二會社ハ何レモ千八百五十四年ニ設立セラレタルモ其營業振ハス次テ千八百六十二年「ドローニ」「ボン、ラブロー」設立セラレタリ此會社ハ契約金額四百二十五萬法ヲ有スルモ最近五ケ年間ニ其事業ノ範圍ヲ殆ント二倍ト爲シタルヨリ外特記スヘキコトナシ次テ千八百六十五年巴里ニ「ガラランチー、フエデラル」設立セラレ今ヤ最大會社ト爲リ契約保險金額三千三百五十萬法ヲ有シ着々發展ノ域ニ向ヒツ、アリ殊ニ注意スヘキハ本會社ハ雷ニ佛蘭西ノミナラス瑞西、伊太利、白耳義及アルゼリヤニモ馬畜保險ヲ行ヒ其保險金ノ大部分モ此等ノ諸國ニ於ケル契約ニ依レルモノナリ其他ニ設立セラレタル會社ヲ舉クレハ左ノ如シ

會社名	設立地	設立ノ年	摘要
ベテ	巴里	一八七二年	契約保險金額ハ七十五萬法ヲ出 テス
ガラランチー、ミューチュエ、デリモ	シヤルトル	一八七三年	
ラブ	巴里	一八七五年	
ケース、デ、プロブリエテール	巴里	一八七九年	
ケース、セントラール	ボルドー	一八八一年	
ユニオン、セントラール	ボルドー	一八八一年	
ブレボワイヤント	ネムール	一八八一年	
ミューチュエ、ユ、ド、ベルシエ	シヤルトル	一八九四年	不詳

以上列舉セル中著大ナルハ僅ニ「ラブニール」ト「ミューチュエ、ユ、ド、ベルシエ」ノミニシテ「ガラランチー、フエデラル」ト共ニ佛國保險會社ノ重鎮タリ千八百三年始メテ大規模家畜保險會社「ソシエテ、ダシユランス、レシプロク」設立セラレタルモ千八百八十三年ニ至リ解散セリ

- ソシエテ、デ、クルチブエテオイル 一八三八年設立
- レタブル、シヤレンチー 一八五八年設立
- ケース、ゼネラル、デ、アツシユランス、アグリコール 一八五六年設立

保險ノ範圍、佛國ノ會社ハ多クハ家畜ノ死亡若クハ撲殺屠肉廢棄等ニ依ル損害ヲ填補スルニ止マルモ稀ニハ死ニ至ラサルモ疾病又ハ怪我ニ基因スル價格ノ減少ニ對シテモ保險スル會社アリ水害、火災、落雷、戰爭又ハ内亂ニ因ル損害ハ保險セラレス而シテ官公所ヨリ補償ヲ受ケタルモノニハ其補償額ヲ賠償額ヨリ差引キ支拂フモノトス去勢ニ依リ斃死シタルトキノ損害ハ特約ヲ爲シテ始メテ有效ナルアリ或ハ別ニ特約ヲモ要セス而モ特別保險料ヲ要セサルモアリ

保險會社ノ填補責任ハ普通、保險證券發行後十五日ヨリ開始スルモノトス

保險ノ申込ハ會社ノ定ムル書式ニ依リテ之ヲ爲シ申込人ハ總テノ質問ヲ正シク答ヘ且危險測定上必

要ナル事實ハ一切之ヲ詐リナク記シ且之ヲ省畧セサルコトヲ宣言セサルヘカラス
生後六ヶ月未滿及十二歳、十四歳、十五歳若クハ十六歳以上ノ家畜ハ夫々會社ノ規定ニ依リ之ヲ保
險セサルコト、ナセリ

保險契約者ノ所有セル一種及同種ノ家畜ニシテ保險ノ目的トナリ得ル限リハ總テ之ヲ保險ニ附シ且
保險期間内繼續シテ保險スヘキモノトス

馬、騾及驢ノ保險ハ其種類(馬ナレハ馬、驢ナレハ驢ト)ヲ明記シテ保險ニ附セラル、モノトス其
他ノ家畜ノ保險ハ其種類ニ從ヒ平均價格ニ依リ若クハ種々ノ平均保險金額ノ群團ニ分チ保險セラル、
モノトス

保險金額ノ最高限度ハ制限セラレ通常牡馬ニ對シテハ二千法、牽馬若クハ牝馬ニ對シテハ千五百法
牡牛ニ對シテハ七百法、牝牛ニ對シテハ五百法ヲ超ヘサルモノトス

保險ニ附セラル、家畜ノ健康状態ニ關スル獸醫ノ證明書ハ一般ニ之ヲ要セス

會社カ保險ノ申込ヲ承諾シタルトキハ申込人ニ保險證券ヲ交付ス此證券ニハ保險セラレタル家畜、
保險金額、合意シタル保險料及普通保險約款ヲ記載セラル、モノトス

保險期間ハ當事者ノ合意ニ依ルト雖モ千八百六十八年一月二十六日ノ相互保險會社ニ關スル法律第

二十五條ニ依リ一ノ制限ヲ受クルモノニシテ即チ保險者並ニ保險契約者ハ長期ノ契約ニアリテハ各五
年ノ保險期間經過前六ヶ月内ニ契約ヲ解除スル權利ヲ有ス故ニ保險ハ殆ント例外ナク五年ノ期間ニ限
ラレタルモノト云フヘシ其他會社ニ對シテハ各損害ノ生シタル後若クハ保險契約者カ被保險家畜ヲ虐
待シ被保險畜ノ飼養不良、取扱不良、過當擔荷若クハ會社ヲ欺カントシ其事業ヲ證明シ得ルカ如キ場
合ニ於テハ保險契約者ニ豫告シテ保險契約ヲ解除スルコトヲ得ル權利ヲ與ヘラル、此場合ニ於テ保險
契約ハ會社ノ通知書カ書留郵便ニ依リテ保險契約者ニ交付セラレタル時ニ於テ消滅シタルモノト見做
サル、モノトス

保險料ハ危險階級ニ依リ計算セラレタルモノニシテ會社ノ實驗ニ依リ作成セラレタル保險料表ニ依
リ之ヲ定ム保險料ハ通常一年毎ニ前拂ヲ爲スモノナレトモ半年拂又ハ他ノ分割拂ヲ爲ス場合アリ「ラ、
ガランチー、フェデラル」及「ラブニール」ノ二最大會社ノ保險料表ハ左ノ如ク危險階級ニヨリ定メラル
(イ) 「ラ、ガランチー、フェデラル」會社

第一級 馬、騾及驢

第一班 乘馬、荷馬、軍馬、農馬、種馬、驢馬

年齢六ヶ月
ヨリ十歳迄

三・〇
パーセント

十歳以上

三・五
パーセント

醫師獸醫ノ馬、輕キ製造品及ヒ商品ヲ運搬スル馬、狩獵用馬、乘馬會、水車、八百

五〇〇

六〇〇

屋、植木屋等ノ馬

第三班

運輸業者、石工場主、荷馬車屋、運送屋、乘

合馬車、馬車鐵道、牽船屋、馬商、材木屋、

八〇〇

九〇五

石炭屋並ニ重荷運搬業者ノ馬

第四班

馬車馬、貸馬

一〇〇〇

一一二〇

去勢保險ノ場合ニアリテハニ「パーセント」ノ割増保險料若シ「アンチタタニー」ノ血清ヲ用ヒスシテ去勢ヲ爲ス場合ニ、四「パーセント」ノ割増保險料ヲ徵收スルモノトス

第二級 牛

各場合ノ保險ノ平均價格ニ

平均價格ニ

第一班

成年牡牛、成年牝牛、犢、三十ヶ月以上ノ乳牛、勞働牡牛、勞働牝牛

二・五

三・五

第二班

牧畜業者及牛乳者ノ牝牛

五〇〇

六〇〇

第三級 小 獸

第一班 羊

六ヶ月ヨリ三年ニ至ル

一〇〇〇

第二班 山 羊

一〇〇〇

第三班 豚

一〇〇〇

(ロ) 「ラブニール」會社

馬

第一級 農業用馬

九ヶ月ヨリ迄

三・五

十九歳ヨリ迄

四・五

第二級 私有ノ馬

四・五

五・五

第三級 商人及小工業用ノ馬、種馬

五・五

六・五

第四級 荷馬其他ノ馬

協議ノ上

牛

第一級 牧場ニ於テ飼養サレ工場裏地ニ於テ飼

三・五

四・五

(養サレサルモノ、犢牛)

第二級

(牧牛、牽牝牛、牽牡牛及ヒ工場裏ニ於テ)

飼養サル、總テノ獸類

四・五

五・〇

十

附加金トシテ通常準備金、經常費、契約費等ニ充ツル爲メ一定ノ額ヲ徵收ス

前記「ガラランチー、フエデラル」ノ保険料表ニハ既ニ總テノ附加金ヲ包含セリ「ラブニール」ノ保険料ニハ尙營業費ヲ附加スヘキモノニシテ其營業費トシテハ保險料表ノ第三級ノ馬ニ對シテハ保險金額ノ四分其他總テノ階級ニ對シテハ保險金額ノ三分ヲ附加シ保險契約締結ノ際一時ニ之ヲ拂込マシムルモノトス

保險料カ普通保險約款ニ記載セル期限即チ通常新營業年度ノ一月十五日迄ニ支拂ハレサルトキハ會社ノ填補責任ハ支拂期到來ノ日ヨリ總延滞金支拂後十日迄又ハ多數ノ會社ニアリテハ二十日迄停止サルモノトス

損害ノ發生シタル場合ニハ「ラブニール」「ミューチユエル、ド、ベルシエ」及「ボンラブロー」ノ保險約款ニヨレハ實際生シタル損害ノ全額迄ヲ填補ス

「ガラランチー、フエデラル」及下ニ示ス所ノ會社ノ殆ント總テハ約款ニヨリ實際損害額ノ八割ヲ損

害填補金トシテ支拂フモノトス

保險契約ハ總テ確定保險料ヲ以テ締結セラル、モノニシテ佛國ノ大家畜保險會社ハ何レモ追課保險料ヲ徵收シ得ル權利ヲ留保セサルノミナラス其相互主義ノ結果各保險契約者ハ會社カ營業費ヲ支拂ヒ尙損害ヲ填補スルニ足ル資力ノ存スル場合ニ於テノミ其會社ニ對シ損害填補ノ請求權ヲ有スルナリ故ニ損害填補率ハ計算年度内ニ生シタル損害ノ多少ニ依リ高低アルモノトス會社ハ通常準備金ノ四分ノ一ニ達スルマテ損害填補ニ充ツルコトヲ得ルモノニシテ其準備金カ損害額ニ對シ不充分ナルコトハ屢々生スル事實ニシテ斯ノ如キ場合ニ於テハ損害ノ填補ハ殊ニ其最少限度ニ於テ爲サル、モノナリ實際ニ佛國ニ於テ損害填補額ヲ減少スルコトハ稀ナル事實ニアラス其小會社ニアリテハ往々四割以下ニ減スルコトモアリ其最大會社タル「ガラランチー、フエデラル」ノ如キ國別ニ依リ會計ヲ區別シ居ル會社ニアリテモ千九百六年ニアリテハ佛國ニ於テ馬ノ損害高ノ六割三分七厘、牛ノ損害高ノ七割二分、羊ノ損害高ノ七割ヲ支拂ヒタルニ過キサルナリ而シテ白耳義ニ於テ馬及牛ニ對スル損害填補率ハ五割九厘、伊太利ニ於テハ五割四分三厘アルゼリヤニ於テハ四割七分六厘、瑞西ニ於テハ七割七分五厘ヲ支拂ヒタルニ過キス唯ラブニールノミハ今日迄ハ約款ニ從ヒ損害全額ヲ支拂フコトヲ得ル状態ニアリタリキ(其内五分ヲ控除シ準備金ニ組入ル)

十一

損害填補ノ計算ハ實價即チ被保險家畜カ保險事故タル疾病又ハ災害ノ起リタル前ニ有セル價ヲ以テ標準ト爲スモノトス

損害額ニ付契約當事者間ニ争ヲ生シタル場合ニ於テ二名ノ鑑定人即チ其一名ハ保險契約者ニ依リ他ノ一名ハ會社ニヨリ任命セラレタルモノニヨリ評價セラル此兩鑑定人カ其鑑定ニ於テ一致スルコト能ハサルトキハ此兩名ハ第三鑑定人ヲ選任シ其多數決ニヨリ之ヲ決スルモノトス兩名ノ鑑定人カ第三鑑定人ノ選任ニツキ一致セサルトキハ此第三鑑定人ハ兩契約當事者ノ一方ノ請求ニ依リ損害ノ生シタル地方行政廳ニヨリ選任セラル、モノトス兩當事者ハ各其代表者タル鑑定人ノ費用ヲ負擔シ第三鑑定人ノ費用ハ兩當事者共同シテ之ヲ負擔スルモノトス

左ノ場合ニ於テハ填補額ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ拒絕スルモノトス

- 一、保險契約者カ契約當時ニ契約ノ目的タルヘキ家畜ト同種ノ總テノ家畜ヲ告知セサリシ場合又ハ後レテ取得シタル家畜ノ追加保險ヲ怠リタルトキ
- 一、家畜ヲ保險契約申込證ニ掲記セル以外ノ役務ニ使用シタル爲メ若クハ不充分ナル飼養及注意過役又ハ虐待ニヨリ損害ヲ生シタル場合
- 一、畜類ノ疾病治療ニ必要ナラサル又ハ假令ヒ必要ナリトスルモ公認獸醫ニヨリテ爲サレサリシ手

術ノ結果死亡シタル場合

一、家畜傳染病豫防規則ニ違反シタル場合

一、保險契約者カ支拂期限ノ到來セル保險料又ハ費用ノ滯納中ニアル場合

疾病又ハ災害ニ罹リタル家畜ノ治療ハ公認獸醫ニヨリテノミ爲サル、モノトス保險契約者ハ遲滯ナク獸醫ヲ招キ及ヒ會社ニ疾病又ハ災害ニ付通告スヘキ義務アリ獸醫ノ來診スル迄ハ被保險者ハ相當ノ看護ヲ爲スコトヲ要ス獸醫ノ費用ハ通常保險契約者ノ負擔トス危險ノ切迫シ居ラサル限リハ撲殺スルニ當テ豫メ會社ノ承認ヲ得ヘキモノトス又會社カ肉ノ賣却ヲ爲サル場合ニ於テハ家畜ノ所有者ハ其家畜ニツキ可及的的收益アル様處理スヘキモノトス之ニ因テ得タル收入ハ會社之ヲ利得ス

損害ニ對シ法律上第三者カ責任ヲ有スルトキハ保險契約者ハ會社ニ其損害ノ證明ヲ爲シ其状態ヲ遲滯ナク通告シ以テ會社ヲシテ其損害賠償ヲ請求シ得ヘカラシムヘキモノトス

填補金ノ支拂ハ營業年度決算後之ヲ爲スモノトシ普通次年度ノ最初ノ二ヶ月内ニ之ヲ爲スモ多クノ會社ニ於テハ損害カ確定シタル後直ニ前渡ヲナスモノトス

佛國會社ノ制度ノ特色タル確定保險料ノ結果填補率ノ不確定タルコトニ乘シ(即チ損害ヲ受ケタル保險契約者ハ充分ナル保證ヲ有セサルコト及損害填補カ營業年度ノ終ニ於テ又ハ一定ノ計算期ノ經過

後支拂ハル、ト云フ事情ナレハ、近時アルメロ（和蘭）ニ於ケル「アルメロ」家畜保險會社ノ競争ヲ試ムルアリテ之カ爲メ佛國會社カ打撃ヲ被リタルコトハ明ナル事實ナリトス此和蘭ノ會社ハ保險料ノ追拂ヲ爲サシメサルコトヲ宣言シテ一定ノ保險料ヲ徴收シ損害ノ生シタル場合ニ損害額ノ七割五分ノ填補ヲ爲スコトヲ保證シ及ヒ損害發生後遅クトモ三ヶ月内ニ其填補額ヲ支拂フヘシトイヘリ

家畜保險ノ特別ノ種類トシテキユロットノ言ニ依レハ短期保險ノ形式ノモノアリ即家畜運送保險、手術保險、牡馬保險等是ナリ其他特定ノ危險ニ對シ個々ノ特別保險契約ヲ締結スルモノアリ例ヘハ疝痛（Kolik）ノ結果ニ因ル損害ニ對スル保險契約ノ如シ

屠畜保險ハ佛國ニ於テハ尙幼稚ニシテ「ラブニール」ハ屠牛トシテ賣却セラレタル牛カ結核ノ爲メ屠肉検査不合格ノ結果ヨリ生スル損害ニ對スル特別ノ保險契約ヲ爲ス唯一ノ會社ナリ而シテ其保險料ハ保險金額ノ千分ノ五ニ當レリ

之ト共ニビレットノ屠畜場ニ於ケル畜類取引者ハ大家畜ニ官廳ノ検査ニ因リテ生スル損害ノ共同分擔ヲ目的トシテ契約ヲ爲シ居レリ此合意ハ單ニ結核ノ結果ニ依ル不合格ヲノミ目的トスモルノナリ然レトモ賣買又ハ周旋シタル總テノ大家畜ヲ保險ニ付シ之ニ對シ保險料ヲ支拂フ義務ハ無キモノトス保險料ハ該畜類カ産出スル地方ニ從ヒ各種ノ階級ニ區別セザレ一頭毎ニ一乃至三「パーセント」ノ

間ニ限ラルマルテルノ言ニ依レハビレットノ家畜取引者ノ少數即チ總數四十五人中僅ニ七、八人ノミ此組合ニ屬セリト謂フ千八百八十八年此屠畜場ニ於テ結核ニ因ル不合格ノ場合殊ニ夥多ト爲ルニ及ヒ右ト同様ノ制度カ里昂ニ於ケル家畜取扱人ノ間ニ起レリ而シテ此地ニ於テハ單ニ大家畜ノミヲ以テ保險ノ目的トナシ保險料ハ一頭毎ニ一法ナリキ然リト雖モ此制度ハ成立後四年ニシテ加入者ノ少キ爲メ解散スルニ至レリト云フ

自由取引ノ目的物タル獸肉ノ検査上ノ必要増大スルニ從ヒ屠畜保險ノ必要ヲ益々感スルニ至レリ獨逸ニ於ケル屠畜及ヒ肉類検査ノ普及ノ結果ハ以テ之ヲ證スルニ足ル羅馬法系ニ屬スル佛國及其他ノ諸國ニ於テハ不合格ノ場合ニハ賣主ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得又獨逸ニ於テハ前所有者ハ唯一一定ノ缺欠ニ對シ賠償責任ヲ負フモノトナセルコトハ屠畜保險ニ及ホス影響ニ付テ同一ニ論斷スルコトヲ得スト雖モ蓋シ重大ナル關係ヲ有スルモノニハアラサルナリ賣主ニ對スル賠償請求ハ羅馬法ノ行ハル、國ニ於テスラ常ニ行ハル、モノニハアラサルナリ縱シ假リニ行ハル、トスルモ良組織ノ屠畜保險ノ存スルトキハ肉商人及家畜業者ハ敢テ賣主ノ賠償責任ニ訴フルノ必要ナカルヘシ

佛國ニ於テモ亦肉類ノ検査ノ一般ニ行ハレ又其嚴重ト爲ルト共ニ屠畜保險ノ必要ヲ感スルコト益々大トナリ家畜保險ノ此重要ナル種類佛國ニ侵入シ豫想以外ノ速度ヲ以テ傳播スルハ蓋シ近キ將來ニ於

テ之ヲ見ルコトヲ得ヘケン

千九百〇六年ニ於ケル佛國私設保險大會社ノ營業ノ成績ハ次表ニ示スガ知シ

會社名	所在地	保險證 券ノ數	保險金額	保險料其他 費用ノ收入	損		年 末 準 備 金
					件數	金額	
ケース、セントラル	ボルドー	二五四	三、四二五〇	八、三六九	三	九、六一〇	六
ユニオン、セントラル	同	不詳	同	同	同	同	同
ガランチー、ミユチ エル、デリー	シャルトル	七、九七七	二、〇九〇、五五〇	四〇〇、〇〇〇	六、六三	三、六二五	不詳
ミユチ、ユエル、デ、バ ルシエ	同	不詳	同	同	同	同	同
ボン、ラブロー	ブロー	二、六八〇	四、二五四、〇〇〇	一〇七、〇〇〇	三、七	一、四〇、八〇〇	六、七三
マテル、ネーユ	同	五五〇	一、〇〇四、八〇〇	四〇、二六二	七	四〇、二六二	不詳
ブレボヤンテ	ヘムール	六三三	八、二九、四四五	三、五〇〇〇	四九	一三、九三〇	一、九〇二
アベニール	巴里	一、五、六四	二、七、九四、九四八	一、〇、九二、四八	一、七、八	一、〇、五、二四九	一、六、五九八
ベテニール	同	七、四	七〇、三三〇	三、三、七九	四	一、五、九三三	不詳
ケース、デ、プロアリ テール	同	二、三、三五	二、三、五四、六五〇	七、七、六二五	一、三	五、八、九六〇	七、〇八四
ガランチー、フエテ ラル	同	一、七、〇三九	三、四、八五、七三〇	九、七、六、二九五	二、八、六	八、〇、〇七六	一、四、一、〇七六
ユニオン、ボセリネ	ビナビール	六九九	七、三、七、六五	六〇、二、九八	一、三	五、六、五五五	八〇〇
合計		四、四、九四	八、四、六、三、四七八	二、九、八、七、七六	五、八、六	二、五、七、〇、四〇	三、五、二、四、六

此表ニ依リ佛國ノ家畜所有者カ大規模ノ保險會社ト契約セルコトノ寥々タルヲ知ルヘシ其筋ノ評價ニ依レハ佛國ノ現在家畜ノ價額ハ約六十億法ニシテ千九百〇六年ニ於ケル總保險金額ハ僅カニ其評價額ノ千分ノ十五ニモ足ラサル程ナリトイフ

ロツキニ一伯ハ其著書ニ於テ佛國カ畜類ノ死亡及ヒ撲殺ノ結果被ムル年々ノ平均損失ハ三千萬法乃至四千萬法ナリト計上セリ面シテ此損害ノ六分三厘乃至八分四厘カ大ナル家畜保險會社ニヨリ填補セラレタリ之ニ因テ見ルニ佛國ニ於ケル私設保險業者カ家畜保險ノ範圍ニ於テ示セル効果ハ實ニ僅少ナルモノナリ然リト雖モ二三ノ會社ハ尙其幼稚時代ニ在リ且一面ニ於テ小農業保險組合ニ於テ行ヘル家畜保險カ國家ノ保護ヲ受ケ發達ノ域ニアリテ注目スヘキ増加ヲ來タシ之ニ據リテ此保險種類ニ對スル家畜所有者ノ利益及信用ノ増進セルコトヲ認メ得ヘシ

次ニ掲クル表ハ此關係ヲ明ニスルコトヲ得ヘシ

年次	保險證 券ノ數	保險金額	保險料及ヒ 費用收入	損		年 末 準 備 金
				件數	金額	
一八九〇年	二〇、九三三	三、三、八六、三、七	一、二、九、七、五〇	二、九、七	八、一、九、五、五七	一、九、七、六五
一八九一年	二〇、四八六	三、八、七、五九、三、五七	一、二、九、三、三、三〇	三、一、〇、六	八、〇、〇、七、四三	二、四、七、七〇
一八九二年	二〇、八〇六	三、六、四、六、九、二、九二	一、二、四、五、〇、七六	二、九、九、五	八、八、八、五、五二	二、八、〇、〇〇〇

一八九三年	二二〇六二	三六八四三、九七四	一、三〇五、〇六一	三、二八二	九〇四、八〇五	二、〇五八
一八九四年	一九四四三	三八八三三、七二九	一、二九〇、九九〇	二、八九二	八六八、七二四	三、三二七
五ヶ年平均	二〇、五八〇	三七、八九八、五四八	一、二六六、四四三	三、〇四九	八五二、四七六	二、二六、九四〇
一八九五年	一八、七八七	三七、〇一〇、六九五	一、二五九、四一三	二、五〇八	八〇四、二〇四	二、四二、一三七
一八九六年	二二、四九九	四〇、五六五、二三五	一、四〇二、八〇四	三、〇〇一	九一四、一七八	二、六五、二二八
一八九七年	三三、五六八	四三、七八七、三八五	一、三四八、五五五	三、四八〇	一、〇八六、四七四	二、九八、一四四
一八九八年	二六、〇九七	四九、三二一、一九〇	一、五六四、七五八	三、八八二	一、二八〇、四四六	三、三三、二〇四
一八九九年	二八、〇三三	五二、三七二、二七三	一、六五八、四二二	三、九八六	一、三九二、二五二	三、三三、九三九
五ヶ年平均	二二、五九七	四四、四三三、三六	一、四四六、七八八	三、三七二	一、〇九五、五二一	二、九〇、五六八
一九〇〇年	三〇、二四〇	五二、五四四、四七二	一、七六一、九五五	三、八八四	一、四三三、三〇九	三、三四、〇九四
一九〇一年	三四、九四五	六五、四四七、三五五	二、二四三、〇三八	四、三三六	一、八八七、七九二	三、三三、九三五
一九〇二年	三三、三七八	六六、六九一、八六八	二、三三七、五三八	四、〇二九	一、八五七、〇九五	三、七二、〇八一
一九〇三年	三九、〇四〇	六八、七四九、九〇〇	二、三九八、七二二	四、二一九	一九〇一、三六八	三、八七、五五五
一九〇四年	四〇、〇六〇	七一、九一三、八四一	二、五六〇、九七五	四、五九一	二、一二一、三〇九	三、六五、四六〇
五ヶ年平均	三五、三三三	六四、八七四、四四七	二、二五四、六一〇	四、二二二	一、八四四、五七五	三、五六、六二五
一九〇五年	四二、四三〇	七六、七二二、四三三	二、六九〇、八〇四	四、九九二	二、二六四、八四九	三、四七、二五七
一九〇六年	四四、四九四	八四、六二二、四七六	二、九一八、七七六	五、八六六	二、五七〇、〇四〇	三、五二、二四六

十八

千八百九十年來保險證券ヲ發行シタル數ニ於テ殆ント二萬三千九百十四即チ十割八分其保險金額ハ

四千六百七十五萬四千九百三十法即チ一割二分又準備金ハ十一萬八千三百〇六法即チ殆ント七割七分二厘ヲ増加シタリ

此慶賀スヘキ増加ヲ致スニ與テ力アリタル會社ハ前ニ掲記セル巴里ニ於ケル「ガランチー、フエデラル」及「ラブニール」、シヤルトルニ於ケル「ガランチー、ミエチユエル、デリール」及ズロオイニ於ケル「ボン、ラブロー」ヲ以テ最ナルモノトス「ガランチー、フエデラル」ニ於ケル千八百九十年ヨリ千九百〇六年ニ至ル平均増加額ハ殆ンド千七百萬法即チ十割ニシテ「ラブニール」ニ於テハ同期間内ニ於テ殆ント二千百萬法「ミエチユエル、デリール」ニ於テハ約五百萬法即チ八割三分「ボン、ラブロー」ニアリテハ凡ソ三百五十萬法即チ二十二割三分ノ増加ヲ見タリ

第三章 小家畜保險組合

獨逸及其他ノ國ニ於ケルカ如ク佛國ニ於テモ亦古代既ニ町村ニ於ケル農家ノ間ニ家畜ニ生スル損害ニ對シ相互的救濟ノ目的ヲ以テ組合ノ存セシコトハ明カナルモ其起原及形式ニ至テハ之ヲ稽フルコトヲ得サルモ此種ノ事業ハ其初メランズ州ニ起リタルモノ、如シ此地方ニ於テハ「コチース」又ハ「コンソルス」ノ名ニ於テ既ニ久シキ以前ヨリ知ラレタルモノニシテ當時ノ農務大臣メラン氏(千八百九十

八年二月二十五日ニ於テ佛國內閣ニ列シタル人ノ報告ニ依レハ千八百九十八年ニ於テ佛國ニ於ケル此種ノ小組合ノ數ハ家畜保險業ノ總數千四百八十四以上ナルニ對シ單ニ七百十二ヲ數フルノミナリキ

此等ノ組合ハロツキニー伯ノ言ニ依レハ確定保險料ヲ徵收セサルノミナラス前拂保險料ヲ受クルモノ全ク無カリキ損害ノ生シタル場合ニ於テハ組合ハ家畜ノ價格ヲ評定シ之ニ從テ支拂フヘキ填補額ヲ定メ各半年度ノ終ニ於テ前半年度ニ於テ確定シタル損害ノ支拂ニ要スル額ヲ割當テ徵收シ組合ノ各員ハ其所有スル家畜ニ比例シテ分割拂込ヲナスノ義務アリキ

町村區域ノミニ限ラレタル小家畜金庫ハラント地方ヨリバンデー地方ニ行ハル、ニ至レリ其始ハ原始的形式ニ於テアリシモ漸次確定シタル基礎ヲ採ルニ至リザルト州及ヒ佛國ノ其他ノ地方ニモ傳播スルニ至レリ

此當時迄小金庫ハ殆ント注意ヲ拂ハル、コトナク從テ國家モ別ニ之ヲ補助スルコト無カリキ其國家ノ保護ヲ受クルニ至リタルハ實ニ千八百九十八年以來ノ事實ナリ農業保險ヲ官營ニヒントノ建言ハ屢々提出セラレ其建言ノ一部ハ架空的ノ方式ヲ有セシモノナルカ政府ハ之ニ對スル防止策トシ并ニ農業組合ノ制ニ依リ農民ノ熱心ナル目的救助ノ念ヲ農業保險ノ上ニ利用センカ爲メ農務大臣メラン氏ノ建

議ヲ容レ農業保險ヲ小ナル相互的組織ニシテ名譽職ヲ以テ業務ヲ行フ組合ニ於テ營ム場合ニハ千八百九十四年以來既ニ農業信用組合ニ對シ行ハル、ト同一ノ方法ニテ國家ノ資力ヲ以テ扶助ヲ與フルコトヲ定メ千八百九十八年ノ歲計ニ於テハ總額五十萬法ヲ支出シ農務大臣ヲシテ目的ヲ定メテ之ヲ處理セシメタリ即チ此金額ヨリ相互的農業保險組合ニ補助金ヲ支給シ且其監督費ヲ支出セリ
其後此補助金額ハ六十萬法ニ上リタルカ千九百〇五年ノ豫算ニ依リ更ニ増加シテ百二十萬法ト定メタリ

其他既設ノ組合ニシテ過去ニ於テ莫大ナル損害ヲ被リタルモノハ其準備金完備ノ爲メ補助金ヲ給與セリ其新ニ組織セル組合ニ對シテハ補助金ノ高ハ其組合ノ組合員數、届出タル保險金額高及業務ノ範圍ニ從ヒ之ヲ定メ從來五百法ヲ下ラサリキ

既設ノ組合ニ對シテハ個々ノ組合員ノ給付ニ對シ支拂ヒタル填補額、組合員ノ出資力及ヒ組合ノ範圍ニ從ヒ之ヲ算定シ一組合ニ對シ百法ヲ下ラス

尙其他小家畜金庫ニアリテハ農業相互保險會社若クハ農業相互保險金庫設立ニ關スル千九百年七月四日ノ法律所謂「ビガー」法ニ依リ前記ノ外補助ヲ受ケタリ此「ビガー」法ニ依レハ金庫ニシテ名譽職ヲ以テ業務ヲ執行管理シ且何等收益ヲ目的トセサル限リハ保險會社ニ關スル千八百六十七年七月二

十四日ノ法律及千八百六十八年一月二十二日ノ法令ノ規定ノ適用ヲ免カレ且千八百八十四年三月二十一日ノ營業組合ニ關スル法律ノ規定ニ依リ農業組合トシテ組織スルコトヲ得又千八百七十一年八月二十三日——二十五日ノ法律第十八條第一號ニ於テ規定セル十法以上ノ金額ノ總テノ受領證ニ對シテハ「サンチーム」ノ印紙ヲ貼付スヘキコトヲ除キテハ總テノ印紙及ヒ登記義務ヲ免除セラレタリ

千八百八十四年三月二十一日ノ法律ノ意義ニ於ケル小保險組合ヲシテ權利能力ヲ有セシムルニハ二通ノ定款及ヒ其時ニ於ケル組合會頭ノ證明書ヲ組合所在地ノ市長ニ寄託ヲ要スルノ外何等ノ手續ヲ必要トセス市長ハ寄託ヲ受ケタル時ハ之ニ證明書ヲ交付スルモノトス

家畜保險金庫カ國家ノ補助ヲ請求セントスル場合ニハ所轄縣廳ヲ經由シテ農務大臣ニ申請書ヲ提出スルコトヲ要ス申請書ニ記載通知スヘキ事項左ノ如シ

- 組合設立ノ年月日、組合員ノ數、總保險金額、總收入保險料額、損害事故ノ數、支拂填補金總額及支拂填補金ニ對スル實際發生セル損害ノ割合
- 國家ノ保護實施以來農業相互保險金庫ハ著シク増加セリ即チ各年中ニ増加シタルモノ左ノ如シ
- 一八九七年末現在 一、四八九
- 一八九八年末増加 一一〇

- 一八九九年末増加 三四一
- 一九〇〇年末増加 三四九
- 一九〇一年末増加 三九〇
- 一九〇二年末増加 四六九
- 一九〇三年末増加 七三七
- 一九〇四年末増加 一、一〇五
- 一九〇五年末増加 一、一一六
- 一九〇六年末増加 一、一三八
- 一九〇七年末増加 一、〇四八
- 一九〇八年六月末マテニ 四九三
- 計 八、七八〇

此八千七百八十ノ組合ヲ營業ノ種類別ニ分ツトキハ左ニ示スカ如シ

- 家畜損害ニ對スル保險組合 七、二四一
- 家畜損害ニ對スル再保險組合 五三

火災損害ニ對スル保險組合 一、四四二
 火災損害ニ對スル再保險組合 一六
 電害ニ對スル保險組合 二四
 農業災害ニ對スル保險組合 四
 計 八、七八〇

二十四

此等ノ組合ニ支給セル國家ノ補助金額ハ左ニ示スカ如シ

年次	總額	内家畜保險ニ對シ支出高
一九一八年	一七二、五五〇	一四三、五五〇
一九一九年	二九五、三五〇	二七八、二〇〇
一九二〇年	二九四、五〇〇	二八七、七〇〇
一九二一年	四六五、四五〇	四四〇、二五〇
一九二二年	五一〇、〇〇〇	五〇〇、四〇〇
一九二三年	六五〇、〇〇〇	六二四、四〇〇
一九二四年	七二一、九〇〇	六七三、〇五〇
一九二五年	八一〇、三五〇	六〇九、四〇〇

一九一六年	一、〇二四、二〇〇	七三七、四〇〇
一九一七年	一、〇二八、七〇〇	七四七、一〇〇
合計	五、九七三、〇〇〇	五、一四一、四五〇

國家ノ補助ヲ受ケタル保險組合ノ事業成績一覽表左ノ如シ

年次	國家ノ補助ヲ受ケタル組合	組合員ノ總額	組合ノ徵收セラル出資	組合ニ起リタル確定セル家畜損失金	支拂填補金
一九一〇年	五七三	四四、九七七	六三八、三九五	八七〇、七二六	六五八、五四八
一九一一年	五九九	五〇、八九六	八六七、九八四	一、三九七、三五六	九二九、二〇八
一九一二年	四九六	四三、三七四	六二六、五五七	九七二、一九二	六九四、〇〇一
一九一三年	六七二	六五、七四〇	一、〇〇七、六五七	一、三九二、二四六	一、〇二五、〇四〇
一九一四年	八四三	七十七、七三三	一、三二二、七三〇	一、八四四、六三三	一、二六二、八八七
一九一五年	一、〇〇六	八二、八四二	一、四八六、七七二	二、二九七、七〇五	一、五八九、六九七
一九一六年	一、二二九	九二、四八六	一、八〇〇、四五二	二、六八八、四二八	一、九六〇、二七三
合計	一、二二九	九二、四八六	七、七三九、五三六	一、二二二、二五五	八、〇一九、六五四

此表ニ引用セル組合ニ於テ千九百〇一年ヨリ千九百〇七年ノ間ニ定款ニ依リ填補金ヲ支拂フコトヲ要スルニ至リタル實際ノ損害高ハ千二百二十一萬二千二百五十五法ヲ示セリ而シテ組合員ノ支拂ヒタル出

資額ハ七百七十三萬九千五百三十六法ナルヲ以テ勢ヒ損害填補金ノ減額ヲ行ハサルヘカラサルニ至リ
 組合ハ實ニ右損害額ノ六割九分ヲ支拂ヒ得ルニ過キスシテ三割一分ハ填補ヲ受クルコトヲ得サリシナ
 リ然リト雖トモ幸ヒ國家ノ補助ニ依リ若クハ準備金ノ積立アリシ爲メ總計八百〇一萬九千六百五十四
 法ヲ損害ノ支拂ニ供スルヲ得タリ其結果千九百〇一年ヨリ千九百〇七年ニ亘リ實際支拂ヒタル金額ハ
 實際損害額ノ七割一分五厘ナリシト云フ

小家畜保險組合ノ發達趨勢ハ左表ニ示スカ如シ

年次	組合數	組合員數	總保險金額
一八九七年	一、四六九	八七、〇七二	五九、一六八、三三四
一八九八年	一、五七八	九四、五四六	六二、四四九、二六九
一八九九年	一、九一七	一一七、二九二	八六、七二四、五一〇
一九〇〇年	二、二六四	一三五、八一七	一〇六、八〇七、一九四
一九〇一年	二、六四六	一五五、四五六	一二九、七七五、八六七
一九〇二年	三、一〇二	一七八、二九〇	一五八、九九九、九五四
一九〇三年	三、八一	二〇九、四九〇	一九四、〇三一、四〇三
一九〇四年	四、八二四	二七五、五七六	二七八、九六〇、五四三
一九〇五年	五、七六五	三一八、一四六	三三〇、五四五、四二九

小組合ノ組織ハ頗ル種々雜多ニシテ各地方ノ風習並ニ特種ノ事情ニ依リ各々其組織ヲ異ニスルヲ見
 ル

組合員ノ出資額ニ付テハ或ハ定款ニ於テ年々一定不變ナル率ニ依リ保險金ニ比例シテ其年額ヲ定メ
 剩餘金アリタルトキハ之ヲ準備金ニ繰込ムアリ或ハ定款ニ依リテ定メタル最高限度ヲ超ヘサル範圍内
 ニ於テ填補スヘキ損害額ニ從テ年々ノ出資額ヲ定ムルアリロツキニ一伯ハ其著書ニ於テ保險組合ヲ二
 種ニ分類セリ一ハ組合員カ被保險家畜ノ頭數又ハ保險金額ニ比例シテ計算セル一ケ年ノ出資額ヲ前拂
 スルモノニシテ他ハ保險料ヲ前拂セシメスシテ寧ロ半ケ年ノ終リ又ハ營業年度ノ終ニ於テ其期間ニ生
 シタル損害ノ支拂ニ必要ナル額ヲ保險金額ニ比例シテ組合員ヨリ後拂セシムルモノナリ而シテ何レノ
 場合ニ於テモ定款ニ依リ定メタル最高限度額ヲ超過スルヲ得サルモノトス

保險金額ニ比例シテ計算セル保險料ヲ前拂セシムル組織ハ後者ニ比シ優レルモノト云フコトヲ得ハ
 キモ第二ニ述ヘタル種類ノ組合力反テ可ナリ廣ク行ハレタリ第一ノ組織ヲ有スル組合力第二ノ者ニ比
 シ利益スル所多キコトハ明白ナル事實ナリ即チ此組織ハ適當ナル事業ノ發達上必要ナル資金ノ收入ニ
 對シ良好ナル保障ヲ與ヘ準備金ノ積立ヲ容易ナラシメ又タトヒ時トシテハ充分ナラストハ云ヘ損害ノ
 確定セル場合ニ直チニ一部ノ填補ヲ爲スコトヲ得ヘシ反之後拂ノ方法ニ依ル組合ニ於テハ半ケ年ノ終

リ迄若クハ徵收手續ノ終了後マテ填補ヲ猶豫セサルヘカラサレハナリ又被保險家畜ノ頭數ニ從ヒ保險料ヲ計算スル制度ニ於テハ優等ナル動物ノ所有者ハ比較的劣等ナル動物ノ所有者ト均シキ分擔額ヲ支拂フモノナルニ損害ノ生シタル場合ニハ動物ノ價格ニ從ヒテ支拂保險金額ヲ計算セラレ前者ハ後者ニ比シ割合ニ多クノ填補額ヲ受取ルコト、ナリテ公平ヲ缺クカ故ニ此制度モ亦漸次衰頽スルニ至レリ

既ニ述ヘタル如ク出資義務ハ其最高限度ニ付テ制限セラレ出資額ヲ前拂セシムル組合ニアリテハ出資額ハ一定ノ最高額ヲ超過スルヲ得サル旨定款ヲ以テ規定シ又多クノ場合ニ於テ出資額ノ補充拂込ナルコトヲ認メ即チ營業年度ノ始ニ於テ先ツ年々一定額ノ保險料ヲ徵收シ置キ營業年度ノ終ニ於テ必要ナル額ヲ補充拂セシムルモノニシテ其補充拂込額ノ最高限度モ亦豫メ確定セラレ居レリ保險料後拂ノ制度ノ組合ニアリテモ同様ニ定款ニ依リテ何レノ場合ト雖トモ超過スルコトヲ得サル一定限度ヲ規定シ居レリ

佛人ハ實ニ此出資負擔額ノ制限ヲ以テ小組合ノ繁榮ノ爲メ必要缺ク可カラサルモノト思惟セリ、保險料ノ最高限ヲ定メス組合員ハ後ニ至リテ屢々追課保險料ヲ支拂ハサルヘカラサルノ虞ノ存スルコトハ小組合ノ存續ヲ危クスルモノニシテ寧ロ現存セル資金ニ比例シテ填補額ノ削減ヲ爲スヲ以テ反テ勝レルモノト爲セリ

出資額ハ各地方ニ於テ異ナレリ公ノ統計ニ依レハ牛ノ年々ノ損害ハ平均一、三九「パーセント」ナリ故ニ多クノ州ニ於テハ牛ニ對シ保險金額ノ一「パーセント」ヲ保險料トシテ徵收セリ然レトモ亦保險金額ノ一、二五「パーセント」一、五「パーセント」及二「パーセント」ニ及フコト屢々アリ又或地方ニ於テハ實際ノ必要ハ仍ホ三「パーセント」ニモ及フモノアリ特ニ危險ノ多キ目的ニ對シテハ時トシテハ割増保險料ヲ徵收スルモノトス馬匹ノ保險ニ於テハ出資額ハ其馬匹ノ使用方法ニ從ヒテ種々ニ定メラル、損害ノ計算ハ半ケ年毎ニ爲サル、モノナルカ故ニ保險料モ亦通常半ケ年毎ニ徵收セラル多クノ組合ニアリテハ第一回ノ保險料支拂ト共ニ準備金ニ充ツル爲メ尙入會金ヲ徵收スルヲ常トスルモノニシテ其入會金ハ各人ニ對シ各保險ニ付スル獸類一頭ニ付半法乃至一法トナシ又ハ總會ニ於テ毎年準備金ノ現在額ニ比例シテ確定セラル、モノトス、時トシテハ組合ノ發起人ハ特ニ入會金ノ支拂ヲ免除セララルコトアリ各種ノ家畜ヲ保險ノ目的トナス保險組合ニアリテハ其各種類ノ家畜ニ付テ特別ノ組合ノ設立セラレサル限り各家畜ノ種類ニ對シ特別ナル會計ヲ設クルヲ常トス

入會金、農業團體組合又ハ私人補助金並ニ營業年度ニ於ケル剩餘金ハ準備金ニ組入レラル、通常ノ年度收入カ必要ナル支出ノ支拂ニ不足ナル場合ニ於テ準備金ヲ支出スルニハ通常其現在額ノ半額ヲ超ユルコトヲ得ス準備金ハ公立貯蓄金庫農業信用組合ニ預入レ又ハ國家年金證券鐵道債券等ニ對シ投資

セラルヘキモノトス

讓渡サレタル家畜ニ對スル保險ハ引渡ノ時ニ於テ其效力ヲ失フモノトス損害ヲ受ケサル被保險家畜ヲ他ノ家畜ト更改シタルトキハ其更改カ適法ニ爲サレタル場合ニ保險契約ハ其代用シタル家畜ノ上ニ繼續スルモノトス然レトモ或組合ニアリテハ此場合ニ於テ保險契約ハ定款ニ定メタル一ヶ月ノ猶豫期間ノ經過後ニ於テ其效力ヲ生スルモノトス又保險價格ノ増加セルトキハ之ニ相當セル保險料ヲ増拂スヘキモノトス組合員ニ被保險家畜ヲ賣却シタル場合ニハ經過セル保險期間ニ對スル保險料ハ之ヲ徵收セス經過シタル保險料ノ拂戻ハ如何ナル場合ニ於テモ之ヲ爲サ、ルモノトス

被保險者ヲシテ被保險家畜ニ對シテ相當ノ取扱又ハ注意ヲ爲サシムル爲メ常ニ死亡若クハ撲殺セラレタル家畜ノ價格ノ全部ヲ填補セシテ實際損害額ノ七割又ハ七割五分或ハ八割ノ填補金ヲ支拂フモノトス但之レ最高限度迄徵收セラレタル組合員ノ出資額及ヒ定款ニヨリ認めラレタル準備金ヲ以テ右ノ金額ノ支拂ヲ爲シ得ル場合ヲ前提トスルモノナリ故ニ其然ラサル場合ニ於テハ填補額ハ時宜ニ應シ相當ニ減却セラル、モノトス

組合ハ唯健康且良好ナル狀態ニアル家畜ニシテ大體危險ノ程度ヲ一ニスルモノヲ保險セントコトヲ務ム最モ優勢ヲ占ムルモノハ牛ノ保險ヲ爲ス組合ナリ多クノ場合ニ於テ馬ノ保險ノミ行フ組合ハ牝牛ノ

保險ヲナスヲ避クルモノトス重荷ノ運搬ノ用ニ供スル馬ニ付テモ亦同シルミールモント地方ノ保險組合ニ於テハ營業上他ノ運搬ノ引受ヲ爲ス農夫ハ損害ノ生シタル場合ニ其填補確定額ノ半額ニ對シテノミ請求權ヲ有スルモノトシサンオメ縣ノ組合ニ於テハ食用ニ供セラル、家畜ニ對シテハ保險ヲ爲サス

アラス縣ノ組合ニ於テハ食用家畜ニ對スル保險料ハ飼養後確定セラルヘキ價額ニ從ヒ定メラル、モノニシテ飼養ノ各月ニ對シ二十五法ノ價額増加ヲ加算スルモノトス

通常、保險ニ付セラル、家畜ハ六ヶ月乃至十二年ノ年齢ヲ有スルモノニシテ馬ニアリテハ特ニ二十年ニ達スル場合アリ、多クノ組合ハ組合員カ少クトモ一ヶ月間所有シタル家畜ニ非サレハ保險ニ付スルコトヲ拒絶スルモノトス又保險金額ハ屢々其最高限度ヲ定メラル例ハ牛ニアリテハ各頭毎ニ四百法迄、馬ニアリテハ八百法迄、驢騾ニアリテハ二百法迄ト定メラル、カ如シ

原則トシテ組合員ハ或種類ノ家畜ヲ保險ニ付セントスルトキハ同種ノ總畜類ニ對シ保險ヲ申込ムヘキ義務ヲ負フモノトス後ニ取得セル家畜ニ對シテモ亦同シ

組合員ノ總會ニヨリテ選任セラレタル委員ヲ以テ成ル委員會（通常三名ノ組合員ヲ以テ組成ス）ハ告知サレタル家畜ヲ検査シ之ヲ保險スルヤ否ヤヲ決定シ保險金額ヲ確定ス此委員會ハ家畜ヲ保險ヨリ

除外スル權利ヲ有ス、確定サレタル保險金額ハ保險料計算ノ基礎トナルモノニテ評價ハ各半ケ年ノ始メニ於テ繰返サル、モノトス

各組合員ハ其組合ノ定款ヲ綴込ミタル一個ノ帳簿ヲ有シ之ニ其被保險家畜並ニ其保險金額及ヒ其他ノ事項ヲ記載シ後ニ保險ニ付シタル家畜ハ之ニ追補記載ス可キモノトス又時トシテハ此保險帳簿ニハ被保險畜類カ疾病ニ罹リ又ハ被害セル場合ニ獸醫ノ來ル迄應急手當ニ關スル事項ヲモ記載セラル

組合ノ會頭ハ保險臺帳ヲ備ヘ被保險家畜ヲ精密ニ記載スルコトヲ要ス多クノ組合ニ於テハ保險ニ附シタル家畜ノ角又ハ蹄ニ燒印ヲナシ特ニ識別シ易カラシム

個々ノ家畜ヲ保險セスシテ家畜ノ總數ニ對シ平均保險金額ヲ以テ保險契約ヲ爲スコトハザルト、バ
ンデー州等ニ一般ニ行ハレ又アルヲネンニ於テ夏期荒地ニアル牧場ノ家畜ニ對シ行ハレタルモノナ
ルカ今日ニ於テハ漸次減少スルニ至レリ

家畜カ疾病ニ罹リ若クハ被害セル場合ニハ組合員ハ遲滞ナク獸醫ヲ招キ其指圖ヲ遵奉スヘク又組合
ノ會頭ニ其旨ヲ通知スル義務ヲ有ス會頭ハ遲滞ナク、疾病ニ罹リ又ハ被害セル家畜ノ現價ヲ確定スル
爲メ評價委員會ヲ開クモノトス、數個ノ町村ニ亘ル組合ニ於テハ若クハ急迫ノ場合ニアリテハ家畜
所有者ハ附近ニ住スル三名ノ組合員ニ評價セシムルコトヲ得、之ニヨリテ評定セル價額カ若シ保險金

額ヲ超過セル場合ニハ損害ヲ計算スルニ當リ保險金額ヲ以テノミ其計算ノ基礎トシ其他ノ場合ニ在リ
テハ最後ニ評定セラレタル價額ヲ以テ其基礎ト爲スモノトス、獸醫カ家畜ノ撲殺ヲ必要ト認メタル場
合ニハ直ニ之ニ著手シ其利用シ得ル死體ノ價格ヲ減却セサル様充分ナル注意ヲ拂フヘキモノトス其他
組合員ハ醫師ノ證明書ト共ニ詳細ナル損害通知書ヲ四十八時間内ニ組合ノ會頭ニ交付スヘキモノト
ス、獸醫ノ費用ハ通常組合員ノ負擔ニ歸ス然レトモ新ラシキ定款ニ於テハ此費用ノ半額ヲ組合ニ於テ
負擔スルコトヲ規定セルモノアリ之レ蓋シ組合員ヲシテ充分ナル注意ヲ爲サシメ且遲滞ナク獸醫ヲ來
診セシメンカ爲メナリ

撲殺セル家畜ノ死體ノ賣得金ハ時トシテハ組合金庫ニ歸屬シ時トシテハ組合員ノ處分ニ放任シ填補
總額ヨリ之ヲ控除スルモノトス、バドカレー及ビセエン、アンフエリユー州ニ於ケル多クノ組合ニ
在リテハ損害ヲ受ケタル組合員ニ其賣得金ノ三分ノ一ヲ與ヘ之ニ因リ可及的能ク死體價額ヲ保持セシ
メンコトヲ圖レリ

オホサボア州ノ或組合ニ於テハ撲殺セル家畜ノ無害ナル肉ハ屢々均一ノ賣價ヲ以テ組合員ニ拂渡セ
リ此方法ニ依リ其賣得金ハ肉商人ニ賣却セラル、ヨリハ一層高價トナルノ良結果ヲ得ルニ至レリ
損害填補金ノ支拂ハ關係書類ヲ検査セル後之ヲ爲スモノニシテ既ニ述ヘタル如ク原則トシテハ半ケ

年ノ終ニ於テ會頭ニヨリ支拂ハル、モノナリト雖モ損害ノ確定シタル後直チニ前拂ヲ爲スコトヲ得而シテ其前拂金額ハ保險料ノ追課カ一般ニ爲サレザルヲ以テ又比例的ノ損害填補額ハ半年ノ終ニ於テ初メテ確定セラルヘキモノナルカ故ニ全年ノ期間ニ於ケル支拂ニ充ツルコトヲ得ル金額ノ範圍内ニ於テノミ増減スルコトヲ得ルモノナルヲ以テ注意シテ之ヲ計算セサルヘカラス然リト雖モロツキイニイ伯ハ其著書ニ於テ前拂ハ事實金額ノ二分ノ一迄ノミナラス屢々三分ノ二迄之ヲ爲スコトヲ得タル旨ヲ明言セリ組合ニ於テ其收入保險料カ經驗上年々平均ニ生スル損害ヲ定款ニ定メタル額ニ至ル迄填補スルニ足リ且ツ充分ナル準備金ヲ有シ其損害ノ精算カ即時行ハルヘキモノニアリテハ填補金額ハ其損害ノ確定後直チニ支拂ハル、ヲ見ル

契約失效ノ原因ハ定款ニ從ヒ種々アリ一般ニ組合員カ其不注意ニ因リ家畜ノ死亡ヲ來タシタルトキ或ハ虐待、過役其他ノ行爲ニヨリ被害ニ付キ責ヲ負フヘキ場合ニ於テハ損害填補ノ請求權ナキモノトス或ル定款ニ於テハ組合員カ疾病ニ罹レル家畜ヲ三日間看護ヲ怠リ又ハ適當ナル處置ヲ爲サシテ放置シタル場合ニハ損害ノ填補ヲ受クルコトヲ得サル旨規定セルアリバドカレー州ノ種々ノ組合ニ於テハ被保險家畜カ馬鼻疽又ハ瘰疽ニ罹リ保險契約後六十日間ニ死亡シタル場合ニハ損害ヲ填補セス去勢ニ因ル損害ハ時トシテハ之ヲ保險契約ヨリ除外シ又時トシテハ請求權ヲ失フ原因ト爲スモ多數ノ組合

ニアリテハ去勢ノ結果ニ對シテハ割増保險料ノ支拂ニ依リ特別保險契約ヲ爲スモノトスオートサボアニ於テハ保險契約ハ被保險家畜カ山間ノ牧場ニ在ル間ハ保險契約ノ效力ヲ停止スセン、アンフエローノ地方ニ於テハ損害カ天候ノ影響ニ因リテ生シ且其家畜ノ所有者又ハ使用人ニ過失アル場合（即重過失ノ責ニ任スヘキ場合）ニハ損害填補ヲ爲サ、ルモノトシバドカレー州ノ各種ノ組合ニ於テハ天候ニ依リ生シタル損害ヲ填補スヘキヤ否ヤニ付テハ組合員總會ニ於テ判定スルモノトス而シテ組合ノ大多數ハ天候ニ因ル損害ノ填補金ハ定款ニ規定セル額ノ半額ト爲セリ

組合ノ加名者數及ヒ保險ニ付スヘキ家畜ノ數ハ少キニ失ス可カラサルモノナリト雖モ佛國ニ於テハ保險組合ノ營業範圍ハ主トシテ一地方若クハ町村ニ限レリ之レ佛國人ハ相互間ノ監督及ヒ各個人ノ保險關係ノ監視ノ容易ナルコトニ重キヲ置ケハナリ

國家ノ補助ヲ受クル爲メニハ保險組合ノ加入カ組合所在地ノ總テノ農夫ニ許サル、コトヲ必要トス例ヘハ一ノ農業組合ノ組合員若クハ一定ノ家畜ヲ有スルモノヲノミ組合員ニ加入スルコトヲ許スカ如キ組合ニアリテハ公ノ資金ヨリ給スル補助ニ對シ何等請求權ヲ有セス勿論各家畜種類又ハ一種類ニ屬スル各個ノ家畜カ疾病ノ疑不良ノ狀態若クハ特別ナル危險ノ虞アルニヨリ組合カ保險契約ヨリ之ヲ除外スル事ハ妨ナシ組合員ノ脱退ハ通常各年度末ニ於テ二週間前ノ豫告ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得オート

サオン及ヒザルト州ニアル組合ニ於テハ其定款ニ組合員カ損害填補ヲ受ケタル場合ニハ之ニ次ク三ケ年間ハ組合ヨリ脱退スルコトヲ得サル旨ヲ規定セリ

組合ノ常務ハ一定員ノ會頭ニヨリ執行セラレ其選任ハ組合員ノ總會ニ於テ之ヲ爲スモノトス多クノ場合ニ於テハ組合ノ特別機關トシテ尙ホ組合員ノ總會ニ於テ選定シタル委員アリ此委員ハ家畜ヲ保險ニ附スル場合定期評價ノ場合又ハ損害ノ生シタル場合ニ評價ヲ爲スモノトス又多クノ組合ニアリテハ業務執行機關トシテ組合員總會ニ於テ一定ノ人員ヲ選任シ其人員中ヨリ自由ニ理事、理事代理及會計役ヲ任命セシメ又評價人ヲ傭入ル、コトヲ得ルコト、セリ業務執行ハ無報酬ヲ以テ爲サル唯タ組合ニヨリテハ書記又ハ金銭出納役ニノミ少額ノ給與ヲ爲シ居ルモノアリ

定款ニ依リ理事又ハ評價委員會ニ委任セラレサル事項ハ總テ組合員總會ノ決議ヲ經ヘキモノトス組合員總會ハ通常計算年度即チ半ケ年又ハ一ケ年毎ニ召集セラル、モノトス

第四章 小家畜保險組合ノ再保險

佛國ノ小家畜保險組合ニアリテモ亦他ノ國ニ於ケルカ如ク狹少ナル營業範圍ノ故ヲ以テ各年ノ損害高ハ平均ヲ保チ難ク常ニ非常ナル高低ノ差ヲ生スルカ故ニ或ハ被害事故ノ増加ト共ニ填補義務履行ニ

要スル保險料ヲ増加シ而シテ其率ハ或ハ高ク或ハ低ク常ニ一定スル所ナク或ハ損害填補ニ充ツヘキ營業資金ヲ減少セシム佛蘭西ニ於テハ保險料ノ追徴ヲ豫想セスシテ通常豫メ其最高限度ヲ定ムルカ故ニ屢々定款ニ豫定セル損害ノ全額ヲ支拂フコト能ハスシテ多少ノ減額ヲ行ハサルヘカラサル場合生スルノ如キ弊害アルヲ以テ小組合ノ存立ヲ危クスル虞アルカ故ニ佛國ニ於テハ定款ニ定メタル額ノ損害填補ヲ可及的確實ナラシムル設備ヲ爲サンコトヲ研究シ組合間ニ危險ノ平均ヲ保タシメンカ爲メ一又ハ數州ニ於ケル組合ヲ結合シテ保險共同即チ家畜ノ死亡ニ對スル再保險會社ヲ設ケムトセリ

此種ノ設備ハ元來再保險制度ト謂フヘキモノニアラス寧ロ困却セル地方的組合ノ救助資金トモ云フヘキモノニシテ此種ノ組織アルニヨリテ敢テ充分ナル準備金ヲ積立テ之ヲ所持スルコトヲ要セサルモノニハ非サルナリ實ニ斯ノ如キ聯合ノ目的ハ通常共同資金ヲ集メ之ニ依リ此等ノ聯合セル組合ニシテ保險料ノ最高額ヲ徴收シ而カモ契約シタル最高限度ノ填補額ヲ支拂フコト能ハサル場合ニハ共同資金ノ現存額ノ許ス範圍内ニ於テ其不足額ニ達スル迄之カ補助ヲ保證スルニアリ

斯ル制度ノ設ケラル、ヤ其目的ヲ貫徹スル爲メニ必要ナル保險技術ニ關スル定款ノ規定ノ統一セララルコトハ言ヲ須タス(例ハハ保險ノ目的、被保險家畜ノ年齢、組合ノ徴收スル保險料ノ額、損害確定ニ關スル手續、填補スヘキ損害額等ニ關シ)又地方組合ノ獨立ハ通常保證セラルヘシ此組合ハ其固有

ノ業務執行機關ヲ有シ自ラ會計ヲ有シ組合員ヲ募集シ被害家畜ヲ其組合ニ於ケル價額ニ據テ評價シ支拂フヘキ填補額ヲ確定シ自己ノ準備金ヲ積立テ公私ノ金庫ヨリ補助ヲ受ケ其營業ヨリ生スル年度剩餘金ヲ收得スル等獨立シテ爲シ得ルモノナリ

ルコントノ言ニ依レハ斯ノ如キ救助金庫(再保險金庫)ノ千九百〇六年三月三十一日ニ於テ存在スルモノ左表ニ示スカ如シ

州	再保險金庫名稱	所在地	加入セル地方金庫數	總保險金額
エ ン ス	ソシエテ、ムチエエユ、ド、レアツシユラン ス、ド、ラロンテイスマン、ド、...	ベルバン	二四	一四七〇、五二五 _法
アル ブ ス(ラス)	シンデイカ、ウニオンテ、ケイス、ド、アレ ホアイヤンス、ド、ラロンゲイスマン、ド、...	シャトリーテイラー	二〇	三八六、五三〇
アル デ ン	ケイス、ド、レアツシユラン、ムチエエ ユ、ド、カントン、ド、セイン	モンクラー	四	一〇、三〇〇
ワ ー ブ	ケイス、デパルトメンター、ド、レアツシ ユラン	メジエール	一七	六七二、五六〇
コ レ ー ズ	同	トロイ	三三	一七、三三〇
コ ー ト、ド ー ル	同	チユーユ	九	三〇四、五三五
	同	デイジョン	三二	一七、二九〇九〇

ド ウ ー ブ	同	ベサンソン	五四	二、二五八、七八〇
ド ロ ー ム	フエテラシオン、テ、ケイス、ド、ラロンテ イスマン、ド、...	ニール	八	八〇、五〇〇
ゼ ユ ラ	ケイス、ド、レアツシユラン、ド、ラロン テイスマン、ド、...	ロンドン	四	五八、一〇〇
ロ ゼ ー ル	ケイス、デパルトメンター、ド、レアツシ ユラン	ロンドン、ソーンセ	八〇	二、二八三、〇〇五
マル ン(ラ ート)	ケイス、ロカール	マン	四八	五四八、四二四
メ ー ルト、エ、 モ ー ス	フエテラシオン、テ、ケイス、ド、アロンテ イスマン、シヨイモン、エ、ワジー	シヨイモン	一九七	三、六三六、三七五
ノ ル ド	シンデイカ、ウニオン、テ、ケイス、ド、ラ ロンテイスマン、ド、...	ラング	一〇三	二、五七五、八四〇
	ラ、ロレン、ケイス、サントラル、ド、ン アツシユラン	ナンシ	一八	五、四八二、五
	ケイス、ド、レアツシユラン、ド、ラロン テイスマン、ド、...	ルネビーユ	三八	一、五二〇、八四七
	ケイス、デパルトメンター、ド、レアツシ ユラン	リール	二四	一、五〇〇、〇〇〇
	ケイス、ド、レアツシユラン、ド、ラロン テイスマン、ド、...	リール、メル	六	一、〇、三八〇
	同	サンラメル	三六	一、〇、二四〇
	同	サンポール	一三	三九、八七〇
	同	アラ	二九	一、一〇、七〇五

グイ、ド、ドーム	ケリス、デバルトマンタール、ド、レアツシ エランス	クライモンアランド	四九	一〇五、五三〇
ビレネ(ラート)	ユニオン、フエテラル、デ、ソシエテ、ダツ シユランス、ミユチエーユ	タル	九	一八九、六五五
サオン(オート)	ケリス、デバルトマンタール、ド、レアツシ エランス	ヴ、エスール	一四三	三八三、四二五
サオン、エ、ロア ール	ケリス、ミユチエーユ、ド、レアツシエラ ンス、ド、ラロンゲイスマン	シャーロン、スール、 サチーン	二二	一八〇、七一〇
サル	ユニオン、デ、ソシエテ、ド、スクール、ミ ユチエーユ	ル、マン	七〇	五二〇、四八〇
セーン、アンフ エラール	ユニオン、デ、ソシエテ、ダツシユランス、 ミユチエーユ、ド、ラロンゲイスマン	スフシャーテル	九	三三六、四七
ソム	同	ル、エン	六	三三三、三五
バ	ケリス、デバルトマンタール、ド、レアツシ エランス	ア、ミ、エン	一七八	四五八、四二〇
ボスゼス	ユニオン、デバルトマンタール、ド、レアツ シユランス	ドラギゴ	二二	二〇〇、四二五
ヨ	ケリス、デバルトマンタール、ド、レアツシ エランス	エ、ピ、ナル	五〇	一九〇、〇〇〇
フラン	ウニオン、デバルトマンタール、デ、ケリス ウニオン、フエテラル、デ、アツソシアツシヨ ン、カントナール、エコムナール、ド、フラン	ラーゼール	四九	一三〇、七四〇
合		バ	三二九	四一、八三、七五〇
計		リ	一七二九	八六、五九六、六八八

四十

聯合地方組合ト共ニ又特別金庫組織ヲ有スル獨立ノ再保險金庫アリ再保險金庫ノ營業費ニハ聯合セ
ル地方組合ノ醸出セル通常ノ分擔額並ニ國家又ハ地方行政廳ヨリ支給スル補助金ヲ以テ之ニ充ツ場合
ニヨリテハ農業組合及ヒ農業團體多少ノ補助ヲ爲スコトアリ

營業上ヨリ生スル剩餘金ハ再保險金庫ノ準備金ノ積立ニ供セラル、モノトス

聯合セル組合カ再保險金庫ニ支拂フヘキ年度若クハ半年度ニ於ケル通常ノ出資額ハ各組合ノ保險金
總額ニ依リ定メラル、モノトス一二ノ地方ニアリテハ再保險料ハ常ニ組合ノ確定支出ノ一ヲ爲スモノ
ニシテ組合ノ經常收入ヨリ支出セリ例ヘハモントリール、スールメル、バドカレール縣ニ於ケル地方組
合ノ組合員ハ被保險牛、驢、騾ノ價格ノ百分ノ一迄被保險馬ノ價格ノ百分ノ二迄ノ額ヲ保險料トシテ
地方組合金庫ニ納メ地方組合金庫ハ其收入額ノ百分ノ二十ヲ再保險金庫ニ拂込ムカ如シ

又ソナム及ヒアルデネン州ノ再保險金庫ニ聯合セル地方組合ハ其收入セル通常保險料ノ二割ニ當ル
額ヲ再保險金庫ニ納ムルモノトス然レドモ多クノ場合ニ於テハ再保險料ハ當該地方組合ニ支拂フヘキ
通常保險料ノ附加トシテ組合員ヨリ徴收シ其組合ヨリ再保險金庫ニ支拂フモノトス

再保險金庫カ地方組合ニ補助ヲ與フル時期及ヒ程度ニ關スル規定ハ一定シ居ラサルナリ例ヘハサ
ン、オメール縣ノ小家畜保險組合ノ組合員ハ其牛、驢、騾ノ保險ニ對シ保險金額ノ百分ノ一ヲ醸出額

四十一

トシテ地方組合ニ支拂ヒ尙再保険料トシテ保険金額ノ千分ノ二ヲ支拂ハサルヘカラス

填補額ノ制度ハ再保険金庫ニ聯合セル組合ハ總テ實際生シタル損害ノ七割ト定メ居レリ地方組合ノ本來ノ收入充分ナルトキハ確定セラレタル損害填補ハ地方組合ノ金庫ヨリ之レヲ爲スヘキモノトス

地方金庫カ支拂困難ニ陥リタルトキハ再保険金庫ハ該地方金庫カ其會計年度ニ於テ拂込ミタル額ト同額ニ達スル迄代テ支拂フモノトス斯ノ如キ給付カ尙確定セル填補額ノ全部ヲ支拂フニ足ラサル場合ニ於テハ再ヒ地方組合ノ金庫ハ其準備金ノ現存額ニ達スル迄其不足部分ノ支拂ヲ爲シ此準備金カ尙不足ナル場合ニハ其以上ノ損害填補ハ再ヒ再保険金庫ニヨリテ行ハル、モノトス

或會計年度ニ於テ多大ノ損害發生シ其填補金トシテ地方組合ノ通常年度收入保険料ノ三倍ヲモ要スル場合ニハ其最初ノ三分ノ一ハ該地方組合ヨリ次ノ三分ノ一ハ再保険金庫ヨリ最後ノ三分ノ一ハ地方組合ノ準備金ヨリ支拂ハル、モノトス而シテ其準備金カ右ノ殘額ヲ支拂フニ足ラサルトキハ其不足部分ハ再保険金庫ニ於テ之ヲ負擔スルモノトス

サン、アンフエリユー州ノ家畜保險組合ノ模範定款ニ依レハ牛ノ保險ニ付テ地方組合ニ支拂ハルヘキ保険料ハ保險金額ノ一分二厘五毛ニシテ再保險ノ爲メ支拂フヘキ特別追加保険料ハ二厘五毛ナリ再保險金庫ニ加入スルニハ既ニサン、オメール州ノ再保險金庫ニ於テ述ヘタルト同一ノ規定及ヒ條件ニ

據ルモノナリト雖モ損害填補額ハ再保險金庫カ第一ニ支拂ヲ爲シ其殘額ヲ地方組合カ其現在準備金ノ半額ニ達スル迄請求ニ應ジ尙ホ不足ナル場合ニハ再保險金庫カ再ヒ支拂ノ義務アル點ニ於テ前者ト異ナレリ再保險金庫カ再度ノ支拂ヲ爲シタル後若クハ再保險金庫カ充分ナル填補ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ地方組合ハ其準備金ヲ以テ猶未拂ニ屬スル損害填補金ノ支拂ニ充ツルモノトス地方組合ノ損害ノ割合カ其通常ノ收入保険料ノ三倍ヲ超ユルトキハ其超過額ハ其準備金ノ高如何ニ拘ラズ再保險金庫ニ於テ負擔スヘキモノトス

オート、サオン州ノ再保險金庫ハ其金庫ニ加入セル地方組合カ既ニ其年度中ニ牛ニ對シテハ保險金額ノ一「パーセント」、馬ニ對シテハ保險金額ノ一、五「パーセント」、牡馬ニ對シテハ保險金額ノ二「パーセント」ヲ損害填補トシテ支拂フヘキニ至リタルトキニ之ヲ補助スヘキモノトス然レトモ地方組合カ定款ニヨリ規定セル損害額ノ七割五分ヲ支拂フコト能ハサル場合ニハ其不足額ノ四分ノ三ノミノ支拂ヲ負擔スルモノニシテ從テ此場合ニ於テ其不足額ノ四分ノ一ハ地方金庫ノ準備金ヨリ之ヲ補ヒ若シ其不能ナル場合ニ於テハ損害填補額ノ削減ヲ行フモノトス

フリン縣ノ再保險金庫ハ同一ノ條件ノ下ニ超過セル損害ノ半額ヲ負擔シ地方組合ハ其準備金ヲ以テ確定セル填補額ノ二割五分ヲ支拂フモノトス

ベルパン縣ノ再保險金庫ハ困窮セル地方組合カ其一年度ニ於ケル總保險料及ヒ其準備金ノ半額ヲ以テ其年度ノ損害填補金ニ充テサルヘカラサルニ至リタル場合ニ於テノミ始メテ之カ救助ヲ爲スモノトス

其他ノ再保險金庫ニアリテハ總テ通常ノ年度收入ヲ以テ加入地方組合ノ請求セル填補增加額ヲ支拂フニ足ラサル場合ニ於テ同一營業年度内ニ於テハ再保險金庫ノ準備金ヨリ再保險金庫ノ定款ニ定メタル最高額以上ノ額ヲ支出スルヲ許サ、ル旨ノ規定ヲ有セリ而シテ其最高額ハ金庫ニ依リ種々ニシテ例ヘハ總額ノ四分ノ一、三分ノ一若クハ二分ノ一トアルカ如シ一度此請求ヲ爲シタル組合ハ同年度ニ於テハ再保險金庫ニ對シテハ請求スルコトヲ得ス從ヒテ該地方金庫ハ其不足額ヲ自己ノ準備金ヲ以テ補フカ若クハ填補額減却ノ方法ヲ講セサルヘカラスノルド州ニ於テハ之ト反對ノ規定アリ即チ其地方ニ於テハ再保險金庫カ支拂ハサルニ至リタル場合ニ於テハ定款ニ定メタル損害額ノ七割五分ニ當ル填補額ノ支拂ニ要スル金額ヲ總保險金額ノ割合ニ從ヒ加入セル總地方組合ニ課スルモノトセリ

一二ノ場合ニ於テハ地方組合ハ其契約ニ於テ他ノ特種ノ方法ヲ以テ再保險ノ目的ヲ達スルモノアリ之ニヨレハ各組合ノ收入及ヒ支出ヲ合算シ即チ收入ハ總テ再保險金庫ニ收メ之ニ對シ再保險金庫ハ總テノ支出ヲ支拂フコト、セリ例ヘハオート、マルン州ニ於ケル百九十七ノ組合ヨリ成立セル「シヨ

モン」ノ「シヨモン」及ヒ「ワッシー」ノ金庫同盟 (Fédération des Caisses des arrondissements de Chamont et Wasry.) ノ如キハ此制度ニ因リテ著シキ好成績ヲ舉ケタリ然リト雖モ斯ノ如キ組織ハ茲ニ所謂獨立セル地方組合及ヒ再保險金庫ナル觀念ニ合セサルモノナルコトハ注意ヲ要ス即チ一若クハ數個ノ縣又ハ州ノ區劃ニ亘ル大ナル家畜保險金庫トモ謂フヘク從ヒテ各地方組合ハ業務執行ヲ助クル下級營業機關ト看做サルヘキモノナリ

以上論シタル再保險金庫ノ營業範圍ハ一二ノ隣接セル縣又ハ州ニ限ラル、モノナルモ之ニ反シテ佛國ノ市町村聯合組合 (Union fédérale des associations cantonales et communales de France) ノ營業範圍ハ佛國全體ニ跨レリ此聯合組合ノ所在地ハ巴里ニシテ千九百六年三月三十一日ニハ共和國ノ六十州ニ跨リ總保險金四千八百八十三萬三千七百五十法ヲ有シ二百二十九ノ地方組合ヲ聯結セリ之レ實ニ佛國ニ於ケル此種ノ最大ナル再保險金庫タリ之ニ加入セル地方組合ノ技術上ノ基礎ノ統一ニ關シ現在各組合ノ定款ニ設ケタル規定左ノ如シ

一、保險セラレ得ル家畜ノ年齡

保險ニ付セラレ得ル家畜ハ通常生後四ヶ月以上及ヒ年齡十五歳以下タルコトヲ要ス但シ十二歳ニ達スル前既ニ保險ニ付セラレ農業用ニノミ供セラル、被保險家畜ハ二十歳ニ達スル迄保險契約ヨリ除外

セスト雖モ其家畜ノ保險金額ハ十二歳ヨリ毎年少クトモ八分ノ一ツ、減却スルコトヲ要ス

二、保險契約ノ範圍

盜難、一揆、戰爭、火災、落雷、洪水、飼養不良、虐使ノ結果生シタル損害ハ之ヲ填補セス之ニ反シテ分娩ニ困ル母畜ノ損害ニ對シテハ其損害カ保險契約後少クトモ二ヶ月後ニ起リタルモノナルトキハ之ヲ填補ス去勢及手術ニ因リテ生シタル損害ニ對シテモ其損害カ公認セラレタル獸醫ノ行為ニ因リテ生シタルモノナルトキハ之ヲ填補ス結核ノ結果生シタル損害ニ對シテハ其家畜カ保險ニ附スルニ當テ結核豫防注射ヲ行ヒタルモノナルトキハ其損害ヲ填補ス

保險金額ハ馬ニ付テハ二千法牛ニ付テハ千法ヲ超過スルコトヲ得ス

損害ノ生シタルトキニ支拂フヘキ填補額ハ實際損害額ノ八割ヲ超過スルコトヲ得ス

三、年々徴收スヘキ保險料

保險スヘキ家畜ノ種類(馬及ヒ牛)ニ從ヒ區別シ馬ハ更ニ又之ヲ三ノ特別部類ニ分カタル

農業用ニ供セラレ又ハ保險契約者自身ノ用ニノミ供セラル、馬ハ第一部類ニ屬シ大農家ノ所有ニ屬スル牡馬又ハ農業用ニノミ供セラレサル馬ハ第二部類ニ屬シ農夫ノ所有ニ屬スル馬ニシテ過激ニシテ且危險多キ役務ニ使用セラル、モノ例ヘハ重荷ヲ負ヒ聯結車ヲ牽ク爲メニ使用セラル、馬ノ如キ

ハ第三部類ニ屬ス

此階級及ヒ種々ニ區域サレタル地區ニヨリ損害事故ノ多少ニ從ヒ保險料表作成セラレ聯合組合ハ之ヲ遵守スルコトヲ要ス即チ徴收スヘキ保險料ノ最低額及ヒ聯合組合ノ各自填補スヘキ最高額ヲ定メラル此表ニヨレハ保險金額百法ニ對スル率左ノ如シ

種族ニ對スル部類	保險料最低額	危險地帯ニ於ケル保險料最高額					
		一	二	三	四	五	六
牛	〇・六〇	一・五〇	一・六〇	一・七〇	二・〇〇	二・二〇	三・〇〇
第一部類ノ馬	〇・六〇	二・二五	二・五〇	二・七五	三・二五	三・五〇	四・〇〇
第二部類ノ馬	〇・六〇	二・五〇	二・七五	三・〇〇	三・四〇	四・〇〇	五・〇〇
第三部類ノ馬	〇・六〇	三・〇〇	四・五〇	五・〇〇	五・二五	五・五〇	七・〇〇

四、徴收スヘキ加入金及ヒ其他ノ附屬費用

新加入組合員ハ加入金トシテ地方組合ニ其準備金ニ充ツル爲メ保險金額ノ百分ノ一ヲ支拂ヒ各保險證券ニ對シテハ一法各保險證券ノ變更又ハ追加ニ對シテハ五十「サンチーム」ノ費用ヲ支拂フコトヲ要ス

五、保險ニ附スヘキ家畜又ハ損害發生ノトキ其填補ノ爲メニスル家畜ノ評價

保險ヲ引受クル際ニ行フ評價ハ保險ヲ申込ミタル組合員ニヨリ之ヲ爲スコトヲ得但地方組合會計役ノ同意ヲ經ルコトヲ要ス疾病又ハ損害ノ生シタルトキハ遲滯ナク公認セラレタル獸醫ヲ迎フルコトヲ要シ又三名ノ鑑定人ニ依リ新ニ評價ヲ爲スモノトス其鑑定人ノ内二名ハ保險契約者之ヲ任命シ一名ハ地方金庫ニヨリ任命セララル、モノトス此評價ハ損害ノ生シタル場合ニ於ケル填補額ノ基礎ト爲ルモノナリ獸醫ノ費用ハ地方組合金庫ニ於テ之ヲ負擔スルコトヲ得

六、地方組合ノ營業費

組合ノ業務ハ通常無報酬及ヒ無費用ヲ以テ行ハル唯會計役ニハ相當ノ賠償ヲ保證セララル、モノトス總營業費ハ第一級及ヒ第二級ノ地方組合ニアリテハ通常半期收入出資額ノ千分ノ二半其他ノ組合ニアリテハ千分ノ三半ヲ超過スルコトヲ得ス

聯合組合ニ加入セル地方組合ニシテ一營業年度ニ於テ莫大ナル家畜ノ損害ヲ生シタル結果定款ニ規定セル保險料ノ最高額ヲ徵收シ之ヲ其損害填補ノ爲メニ支出スルモ尙不足ナル場合ニハ其不足額ハ「ウニオン、フエデラル」ニ於テハ其年度内ニ比較的損害少カリシ他ノ各金庫ヨリ其保險金額ニ比例シテ之ヲ分擔セシム

此等州補助金庫所謂再保險金庫ノ設立ヲ以テ佛國ニ於ケル地方的組織ノ家畜保險問題ハ未タ全ク解決セラレタリト云フヲ得サルコトハ蓋シ疑ヲ容レサルナリ此再保險金庫ノ提供セル保證即其金庫ノ區劃内ニ生シタル損害カ定款ニ規定セル額ニ達スル迄保險契約者ニ支拂ハル、コト甚タ稀ナリ實ニ其保證タルヤ各年度ニ於テ其區劃内ニ生シタル損害ノ程度并ニ再保險金庫ニ現存セル金額ノ高如何ニヨリ一様ナラスカルカ故ニ完全ナル保證ヲ得ルコトノ必要ハ尙ホ益々感セララル、ニ至レリ世人ハ此缺陷ヲ補フカ爲メニ州救助組合即チ所謂再保險金庫ヲ再ヒ佛國全體ニ亘ル一個ノ聯合ニ統合シ國家ヨリ繼續的補助並ニ特別補助ヲ與ヘ内國中央金庫ヲ成立セシメ各保險機關カ其管轄地區内ニ生シタル家畜ノ損害ヲ填補スルコト能ハサル場合ニ於テ之ニ救助ヲ與ヘシメンコトヲ希望セリ即チ内國中央金庫ハ一州ニ於テ所謂再保險金庫カ各地方組合ノ損害ヲ平均スルコト能ハサル場合ニ其地方ニ於ケル規定ノ保險料最高額ヲ徵收スルニ至ラサル各地方組合ニ其規定ノ最高額ヲ超過セサル範圍内ニ於テ此非常ノ損害ヲ分擔セシメムトスルニアリ

此計畫ノ實現セララル、時期及ヒ其形式ノ如何ニ關シテハ今茲ニ述ブルコトヲ得ス若シ之ヲ實行セララル、曉ニ於テハ家畜保險ハ將來ニ於テ小地方家畜保險組合ヲ基礎トシテ左ノ三種ノ態様ヲ呈ス可シ

一、保險引受者トシテノ地方組合

此組合ニアリテハ約同價格ヲ有スル被保險畜ノ大多數ヲ希望スルハ勿論ナレトモ其營業ノ範圍ハ餘リ大ナル可カラス依テ以テ事業ノ監視監督及ヒ執行ノ容易ナルコトヲ期スルコトヲ得ヘシ定款ノ規定ノ統一ナルコトハ單ニ重要ナル技術上ノ點ニ於テノミ之ヲ必要トスヘキモノナリ例之該區劃ニ於ケル家畜ノ平均損害ニ對スル保險料最高額ノ測定、損害填補額ノ割合ヲ定ムルコト(例ハ實際損害額ノ七割五分若クハ八割ノ如シ)保險料ノ一部ノ前拂、實價及ヒ統一ナル基礎ニ依ル畜類ノ損害ノ評價、準備金ノ積立等ニ於ケルカ如シ、組合ハ國家ノ補助ヲ受ケ且ツ他方ヨリモ補助ヲ仰クコトヲ得然レトモ此等ノ組合ハ其地方ニ存スル州救助金庫(再保險)ニ加入シ其通常收入保險料ノ一部(例ハ一割乃至二割)ヲ拂込ムコトヲ要ス

二、地方組合ト内國中央金庫トノ聯結者タル可キ州ノ救助金庫(再保險)

州金庫ハ其區劃内ニ在ル地方組合ノ大損害ヲ調和センコトヲ以テ其目的トス、地方組合ヨリ年々受領スル金額ハ加入セル總組合ノ共同救助資金ト爲ルモノナリ即チ加盟組合ニシテ重大ナル損害ヲ被リ爲メニ定款ニ規定シタル損害填補額ヲ完全ニ支拂フコト能ハサル場合ニ於テ必要ナル補助ヲ爲スコトニアリ然レトモ地方組合ニシテ其通常ノ年度收入、年度剩餘金及ヒ州ヨリ給與スル補助金等ヲ以テ成ル準備金ヲ以テ填補ヲ爲シ得ル場合ハ此限りニ非ス此等州金庫ハ出來得ヘクハ千九百年七月四日ノ

法律ニ據リ當該州ノ私設農業組合トシテ設立サルヘク地方組合ヨリ拂込ミタル通常年度收入ノ中ヨリ豫メ協定シタル率ニ依ル金額ヲ内國中央金庫ニ納ムヘキモノトス

三、保險機關ノ最高位ニ在ル内國中央金庫

國家ノ補助金並ニ各州金庫ノ通常出資額ハ此金庫ノ收入タルヘク而シテ州金庫カ資金ノ缺乏ノ爲メ其管内ニ於ケル地方組合ニ給與ス可キ資金ヲ有セサル場合ニ之ヲ補助スルヲ以テ目的トス

奧太利及匈牙利國ニ於ケル家畜保險

第一章 總 說

私設會社ヲ以テ家畜保險ヲ營マントスルノ計畫ハ總テ失敗ニ終レリ、「タウルス」、「アピス」、「オリオシ」、「サントマルチン」、「ウキーナー」、「ウエクゼルザイチイーゲー」其他ノ諸會社中或ハ數十年ノ長キニ亘リ奮闘シタルモノ有リシト雖トモ何レモ早晚廢業ノ止ムナキニ至レリ、小村落又ハ教會部内ニ營業セル家畜保險組合ヲ除ケハ千八百六十五年設立ノ「フオラールベルグ」洲家畜保險組合ハ奧國唯一ノ私設營業者ニシテ匈國ニハ同業組合ノ組織ヲ以テ匈國相互家畜保險組合ト稱スル唯一ノ私設營業者アルノミトス

メーレン州ニ於テハ公營保險所ヲ設ケ強制的ニ保險ヲ行ヒシモ其成績不良ナリシカハ強制ヲ廢シ獨逸國バイエルン及バーデン諸國ノモノヲ模範トシ之ヲ改良シテ漸ク可ナリノ成績ヲ得ルニ至レリ今日州家畜保險所ノ存スルハ下奧國、上奧國、メーレン及ケルンテンノ四州トス而シテ上奧國ノモノハ唯

牛畜保險ヲ爲スノミナレトモ他ノ三州ノモノハ牛畜及馬匹ノ保險ヲ併セ營メリ
 此等ノ州家畜保險所ハ何レモ相當ノ成績ヲ擧ケ就中下埃國ノモノハ好成績ヲ示セルニモ拘ハラズ斯
 業ノ發達遲々トシテ且他ノ地方ニ在リテハ此種ノ事業ヲ計畫スルモノ無カリシカハ埃國內務省ハ斯ル
 州立家畜保險所設立ノ必要ヲ述ヘ其設立ニ對シテハ各地方團體ハ宜シク相當ノ獎勵保護ヲ爲スヘキコ
 トニ付訓令ヲ發セリ即チ各地方ノ狀況ニヨリ先ヅ地方保險所ヲ設立シ其會員トシテ各部落ノ組合ヲ結
 合セシムルカ又ハ先ヅ部落ニ獨立ノ相互的部落組合ヲ組織セシメ次テ之ヲ州保險所ニヨリ統合センコ
 トヲ獎勵セリ之ト同時ニ州保險所并ニ部落組合ニ對スル模範定款ヲ制定シ之ヲ頒布セリ此等ノ訓令ニ
 基キチロール、キユステンランド、ベーメン、スタイヤーマルク等ニ保險組合組織セラル、ニ至レリ
 而シテ千九百七年末ニ現存スルモノ左ノ如シ

下 埃國	牛畜保險組合	馬匹保險組合	牛馬保險組合
上 埃國			
スタイヤーマルク	七	一	四五

ザ ル ツ ブ ル ヒ	ケ ル ン テ ン	キ ユ ス テ ン ラ ン ド	チ ロ ー ル	ベ ー メ ン	メ ー ク ン
一	七	六	八	二	九

牛畜保險小組合ノ成績

年 度	組 合 數	員 組 合 數	牛 被 保 險 數	保 險 金 總 額	保 險 料	被 害 額	利 用 物 代 價	純 補 金
一九〇一年	七	三三四	二,三二一	五〇,三三〇	三,三三〇	三三	五〇,五九九	四,八九二
一九〇二年	八	七〇〇	四,三三九	八五,五五五	五,二三八	五九	八,五五九	四,八九二
一九〇三年	七	六九四	四,三三三	八七,〇	五,〇一〇	四九	八,五三三	四,八九九
一九〇一年	七	一,〇二七	二,〇三八	三三,三九	五,九四六	五九	一〇,三三二	?
一九〇二年	七	一,〇二二	二,〇二五	三三,七二	七,〇二三	五	八,九九七	五,四〇五
一九〇三年	七	九九二	一九二五	三三,八九	九,八五九	七〇	二,四四五	七,六四〇

獸疫豫防規則ハ家畜保險ニ最モ重大ナル關係ヲ有ス即チ家畜保險ノ發達如何ハ此規則ノ内容如何ニ關スルモノト一般ニ信セラル、カ如ク密接ノ關係アルモノナレハ今左ニ此規則ノ概要ヲ述ヘントス

埃國ニ於テハ千八百八十年二月二十九日發布ノ一般獸疫豫防規則ニヨリ左ノ場合ニハ被害家畜ノ普通價格ヲ政府ヨリ賠償セラル

- (一) 傳染病ナルヤ否ヤヲ確定センカ爲メ官廳又ハ獸疫委員會ノ命令ヲ以テ撲殺シタルトキ
 - (二) 馬鼻疽ノ嫌疑ヲ以テ撲殺シ其馬鼻疽ニ非ラサリシトキ
- 千八百九十九年五月及千九百年九月ノ豚「ベスト」豫防法ニヨレハ官廳ノ命令ニヨリ撲殺シ其豚「ベスト」ニ非サルコトヲ發見シタルトキハ
- (一) 肉用豚ニ對シテハ其内價ノ九割五分
 - (二) 肥豚ニ對シテハ其重量ト及ヒ三ヶ月毎ニ其地々方官廳ノ豫メ定メタル價格トニ據リテ
 - (三) 種豚ニ對シテハ(二)ニヨリテ定メラル、價ニ其二割五分ヲ増加シタルモノトス
- 千八百九十二年八月十七日ノ法律ニヨリテ肺結核ニ罹レルモノ又其豫防ノ爲ニ撲殺シタルモノニ對シテハ其評價格ノ九割五分賠償セラル
- 肺炎流行ノ爲メ撲殺シタルモノニハ其評價格ノ八割賠償セラル

下埃國州立家畜保險所ハ埃國ニ於ケル州立ノモノ、模範的ノモノトモ稱セラル、如キモノナレハ今左ニ之ヲ詳記シテ他州ノモノハ之ヲ省畧セントス

第二章 下埃國州立家畜保險所

下埃國州立家畜保險所ハ千八百九十八年州會ニ於テ相互主義ヲ以テ牛畜州立保險所ノ名ノ下ニ設立セラレ次テ千九百年四月州會ノ決議ヲ以テ馬匹ノ保險部ヲ設ケ其名稱モ亦現在ノモノ、如ク改メラレタリ而シテ牛畜保險ハ千八百九十八年七月一日馬匹保險ハ千九百年十月一日之ヲ開始シタリ

保險加入ハ任意ニシテ強制的ナラス

保險所ハ牛又ハ馬ノ斃死若クハ撲殺ニヨル損害ヲ填補シ併セテ牛畜ニ對シテ屠殺ノ際、肉検査法ニヨリテ其肉ノ全部又ハ一部カ食料用タルコトヲ禁止セラレタルトキノ損害ヲモ保險シ馬畜ニ對シテハ分娩ニヨル損害又ハ之カ爲メ餘病ヲ發シテ斃レタルトキノ損害ヲモ(特別保險料ヲ以テ)保險ス

保險所ハ州會特ニ其委員會ノ監督ノ下ニアリ事業ノ經營ハ定款ノ規定ニ從ヒ總テ理事之カ任ニ當リ之ニ要スル費用中事務員ノ給料、事務所ノ雜費(設備費、點燈料、暖房料等ヲモ含ム)ハ州之ヲ負擔シ猶其他ノ費用ニ充ツルカ爲毎年十萬「クロートネ」州ヨリ支給セラレ又左ノ補助金下附セラル

- (一) 牛畜保險部ノ地方組合ニ對シテ四萬「クロートネ」

(二) 馬匹保險部ノ區組合ニ對シテ四萬「クローネ」

下埃太利州内ニ在ル牛又ハ馬ノ所有者ハ總テ保險所ニ加入スルコトヲ得而シテ其所有家畜ニシテ被保險資格アルモノハ總テ之ヲ保險ニ付スルコトヲ要ス加入ハ何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得ルモ退會ハ事業年度末ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

牛畜保險部會員ハ地方組合ニ、馬匹保險部會員ハ地方組合及ヒ區組合ニ屬スヘク此等地方組合ハ一自治團體内ニ少クトモ牛畜保險ニハ五人ノ所有者アリテ其所有牛畜數六十頭以上ナルトキ馬匹保險ニハ六人ノ所有者アリテ其所有馬匹ヲ全部保險ニ付スルトキ之ヲ組織シ馬匹保險部ニ於テハ此等地方組合ヲ併セテ更ニ五ノ區組合ヲ形成スルモノトス

地方組合ニハ其組合員中ヨリ一人ノ事務委員ヲ設ケ州保險所ヨリ與ヘラレタル規程ニ從ヒ組合ノ事務ヲ司ラシム又組合員中ヨリ二人ノ評價人ヲ撰定シ之ヲシテ定款規定ノ評價事務ヲ執ラシム

牛畜保險ノ申込ニ對シテハ地方組合事務委員其承諾ノ拒否ヲ決シ馬匹保險ノ申込ニ對シテハ地方組合事務委員及保險所ノ指名セル獸醫トノ協議ニヨリテ之ヲ決ス保險ノ承諾ハ保險所本部ニ於テ作成シタル保險證券ヲ被保險者ニ交附シタルコトニヨリテ之ヲ證ス

左記ノ家畜ハ被保險資格無キモノトス

(一) 三ヶ月未満ノ牛畜又ハ十二歳ヲ超ヘタルモノ

六ヶ月未満ノ馬匹又ハ十五歳ヲ超ヘタルモノ

(二) 疾病ニカ、レルモノ又ハ疾病ノ疑アルモノ若クハ虐使セラレタルモノ

(三) 販賣營業者所有ノ家畜、流行病カ未タ息マサル地方ヨリ來リタルモノ又ハ剥皮者所有ノ馬匹

(四) 賣買法ニヨリ賠償責任アル馬、又賠償期限ヲ經過セサル牛及馬、跛癖、喧騒、飲氣等ノ如キ

惡癖アル馬、盲馬、若クハ遠カラス失明スヘキ馬

(五) 評價額二百「クローネ」ニ達セサル馬及工業用ノ牛畜

被保險家畜ハタトヒ其保險期間中ニ上記ノ制限年齢ニ達シタリトモ其保險期間内ハ繼續シテ保險セラルヘシ

牛畜保險ニ於テハ各地方組合ノ事務委員ハ規定ノ形式ニヨリ地方臺帳ヲ作り之レニ被保險者名其各被保險畜ノ詳細ナル記載并ニ保險金額ヲ記入スヘシ

馬匹保險ニアリテハ保險所本部ヨリ地方組合事務委員ニ對シテ各被保險馬ノ詳細ナル報告有ルヘケレハ之ヲ以テ被保險馬ト實地對照シテ其一致ヲ期ス可キモノトス

牛畜保險ニ在リテハ毎年四月及十月ノ兩度各地方組合事務委員ハ其組合内ニ於ケル被保險牛畜ノ檢

查ヲ爲スヘク又馬匹保險ニアリテハ毎年九月各組合事務委員及保險所本部ノ指名セル獸醫ニヨリテ其部内ノ馬匹ヲ検査スヘキモノトス此等ノ検査ニ際シテハ被保險資格アル同種家畜ハ全部保險セラレ居ルヤ否ヤ保險原簿ニ記載セラレタル各被保險家畜ニ關スル記事ハ正確ナリヤ否ヤ被保險家畜ハ現存セリヤ否ヤ家畜ノ飼養ハ相當ナリヤ否ヤ又保險金額ハ其實際ノ價格ニ相當ナリヤ否ヤヲ検査スルモノトス

保險料ハ左ノ規定ニヨリ毎年支拂ハルヘキモノトス

(一) 牛 畜 保 險

保險金額ノ百分ノ一ヲ各頭ニ對スル普通保險料トシ流行病ニヨル損害ニ對スル割増ハ牛畜ノ一團若シ四十頭以下ナルトキハ保險金額ノ千分ノ一、四十一頭以上八十頭以下ナルトキハ同千分ノ五、八十一頭以上ナルトキハ千分ノ八トス

(二) 馬 匹 保 險

危 險 ノ 階 級	在「ウヰン」區組合	他ノ四區組合
(一) 各頭價格千二百「クローネ」以下ノ農業用馬匹	千分ノ十六	千分ノ十六

(二) 農業用ノ馬匹ニシテ時トシテハ荷馬車用ニ使用セラル、モノ、輕キモノヲ運フニ用フル營業的荷馬車用、郵便物運搬用又ハ馬車用ノ馬匹、但シ各頭千二百「クローネ」以下ノモノ	千分ノ二十四	千分ノ廿二
(三) 土木用材料、石又ハ煉瓦等ヲ運搬スルニ使用スル營業的荷馬車用ノ馬匹、但シ價格千二百「クローネ」以下ノモノ	千分ノ三十三	千分ノ三十
(四) 軍馬并ニ價格千二百「クローネ」以上ノ馬匹	千分ノ三十八	千分ノ三十五
(五) 贅澤馬、價格千二百「クローネ」以上ノ種馬	千分ノ五十五	千分ノ四十五

分娩及其餘病ニ對スル損害ヲ保險センニハ各頭ニ付キ左ノ特別保險料ヲ増徴ス

危險階級

- (一) 千分ノ十
- (二) 千分ノ十二、五
- (三) 及(四) 千分ノ十五
- (五) 千分ノ廿五

前記ノ保險料ノ外加入手數料トシテ保險金額ノ千分ノ二并ニ特別準備金トシテ積立ランカ爲メ毎年

危險階級(一)(二)及(三)ニハ千分ノ三、同(四)ニハ千分ノ五、(五)ニハ千分ノ八ヲ徵收ス

馬鼻疽、疥癬、肺炎等ノ特別危險ニ對シテハ一萬分ノ五ヲ增徴ス

新ニ加入ノ際ハ普通保險料ハ其未經過月數ニ應シテ之ヲ徵收ス其加入ノ月ハ一ヶ月トシテ之ヲ計入ス然レトモ特別危險ニ對スル割増等ハ常ニ一ヶ年分ヲ拂込マシムルモノトス

保險料ハ新ニ加入ノモノハ其保險承認後四週間内ニ次年度ヨリハ其營業年度開始後四週間内ニ其所屬地方組合事務委員ニ拂込ムヘキモノトス但シ被保險者ハ年二回拂トナスコトヲ請求スルコトヲ得、牛畜保險部及ヒ馬匹保險部ハ各別ニ保險所資金及準備金ヲ有シ牛畜保險部地方組合ハ各特別資金ヲ有シ馬匹保險部ノ五區組合ハ各特別資金及特別準備金ヲ有ス

保險所資金中ニ入ルヘキモノハ拂込保險料及手数料等并ニ州補助金ニシテ特ニ馬匹保險部ニ於テハ之ニ屬スル區組合ニ於ケル準備金ヨリ生スル利息ヲモ計入ス而シテ此保險所資金ヲ以テ支出スヘキモノハ左ノ如シ

- (一) 支拂填補金ノ半額
 - (二) 家畜ノ検査及損害額決定ニ要スル費用ノ半額
- 牛畜保險ノ各地方組合資金中ニ收入セラルヘキモノ左ノ如シ

- (一) 各組合員ノ保險料ノ半額
 - (二) 特別保險料ヨリ生スル剩餘金ノ半額
- 馬匹保險ノ各區組合ノ特別資金中ニ組入レラルヘキモノハ
- (一) 所屬地方組合員ノ加入手数料
 - (二) 所屬地方組合員ノ保險料ノ半額
 - (三) 州補助金ヨリ年額四千「クローネ」
 - (四) 其資産ニ對シテ三朱ノ利息
- ニシテ之ヲ以テ支出スヘキモノハ左ノ如シ
- (一) 該區組合及所屬地方組合ノ經費
 - (二) 其所屬組合内ニ支拂ハルヘキ填補額ノ半額
 - (三) 損害額決定ニ要スル費用ノ半額
- 保險所準備金中ニ組入ラルヘキモノ左ノ如シ
- (一) 各部ニ於ケル剩餘金
 - (二) 牛畜保險ニ於テ特別保險料ヨリ生スル剩餘金ノ半額

(三) 州ヨリ受クル補助金ノ剩餘

馬匹保險ノ各區組合準備金中ニ組入ルヘキモノ左ノ如シ

(一) 準備金餘金

(二) 區ノ剩餘金

(三) 特別保險料ヨリ生スル剩餘ノ半額

組合解散ニ際シテハ其財産ハ各組合員カ其年度内ニ拂込ミタル保險料ニ比例シテ之ヲ分配ス

保險所資金、地方組合資金又ハ區資金ニ不足ヲ生スルトキハ州ヨリ無利息ニテ借入レ決算年度末ニ

於テ準備金ヲ以テ之ヲ償却スヘク若シ之ヲ償却シ能ハサルトキハ其缺損ヲ生シタリシ年度ニ於テ拂込

ミタル保險料ニ比例シテ其所屬組合員ヨリ之ヲ追徴ス但シ牛畜保險ニ於テハ其缺損保險料ノ一割ニ達

セサルトキハ追徴ヲ爲サスシテ之ヲ次年度ニ繰越シテ償却スルモノトス

保險所準備金カ各部ニ於テ前年度收入保險料ノ二倍以上ニ達シ又馬匹保險ノ各區組合ノ特別準備金

カ其各區ニ於テ前年收入セシ保險料額以上ニ達スルトキハ下墺國家畜保險所理事ノ請求ニヨリ下墺國

州會特別委員ハ其所屬組合員ニ普通保險料半額ノ拂戻ヲ命スルコトアルヘシ

牛畜保險地方組合ニ於テ前年ニ收入セル保險料ノ半額以上ノ剩餘金ヲ二年連續シテ毎年得ルトキハ

同様ニ其所屬組合員ニ普通保險料ノ半額ノ拂戻ヲ爲サシムルコトアルヘシ拂戻金計算ニ際シテハ其組
合員タリシ期間ノ長短ニヨリテ之ヲ定ム但シ半年以上ハ一ケ年ト計算ス

損害填補責任ハ保險所カ其保險承諾後十五日ニシテ始マル保險料拂込無キトキハ填補ノ責ニ任スル
コトナシ

斃死又ハ撲殺セル家畜ノ價格ハ定款ノ規定ニヨリ填補額決定ノ爲メニ定メラレタル評價委員ニヨリ
テ評定セラル評價委員ハ其家畜ノ斃死シタル又ハ撲殺セラレタル自治團體内ノ一定ノ獸醫又ハ其代理
人ト其所屬組合事務委員及其自治團體内ノ一人ノ評價人トノ三人ヨル成ル

填補額ノ決定

牛畜保險

(一) 斃死又ハ撲殺當時ノ營養狀態ニ對スル市價ヲ以テ評定價トス

(二) 種牛又利用牛ニ對シテハ其年齡及ヒ其斃死又撲殺當時ニ於ケル種牛用又ハ利用ノ事情ヲ斟酌
スルモノトス

(三) 結核病ニテ斃レ又之レカ爲メ其屠肉ノ全部又ハ一部カ廢棄セラレタルモノニ對シテハ特別ノ
評價法ヲ用非スシテ其保險金額ニヨリテ填補セラル

- (四) 各評價委員ハ各自ノ意見ニ基キ評價スヘキモノトス
- (五) 三委員ノ評價額ノ平均額ヲ評定額トス
- (六) 斯ク定メラレタル價格ハ左ノ規程ニヨリ削減セラル
 - (a) 如何ナル場合ニ於テモ六百「クローネ」ヲ超ユルコトナシ
 - (b) 屠畜ニアリテハ保險金額ヲ超ユルコトナシ
 - (c) 有殖用畜、利用畜及ヒ肥畜ハ保險價格ノ一割増以上ナラサルコト但シ保險加入後又ハ検査後三ヶ月以上經過シタルモノニ對シテハ此限ニアラス

馬匹保險

- (一) 馬匹ヲ評價スルニハ其斃死又ハ撲殺ノ時ニ於ケル牽引用、乘馬用又ハ種馬トシテノ價額ヲ酌シ其死亡ノ原因ヲ問フコトナシ
 - 評價委員ハ左ノ事項ヲ斟酌スヘシ
 - (a) 馬匹ノ年齢
 - (b) 其缺點
 - (c) 罹病前ニ於ケル被使役力

- (二) 各評價委員ハ別々ノ評價票ニ其評價額ヲ記入スヘシ
 - (三) 評價委員ノ評價額ノ平均額ヲ以テ評定價額トス
 - (四) 斯ク評定シタル價額若シ保險證券記載ノ保險金額ヨリ大ナルトキハ保險金額ニ基キ填補セラ
ルヘシ之ニ反シテ評價額若シ保險金額ヨリ小ナルトキハ其評定額ニ基キ填補セラルヘシ
- 牛畜保險ニ於テハ被保險者ハ左ノ填補ヲ受クルモノトス
- (一) 損害額ノ多寡ニ關セス牛畜ノ屍骸
 - (二) 其屍骸ノ價格若シ上記ノ方法ニヨリテ定メラレタル牛畜ノ評定價額ニ達セサルトキハ其評定價格ヨリ屍體ノ價格ヲ差引キタル殘額ノ八割但シ結核病ニカ、レルモノニハ差引殘額ノ六割五分トス
 - (三) 屍骸ハ直ニ被保險者ニ引渡サレ殘餘ノ金額ハ保險所金庫ヨリ支拂ハル、モノトス
 - (三) 屠殺用トシテ販賣セラレタル牛畜若シ屠殺後ニ官ヨリ沒收セラル、トキハ斯ル危險ニ對シテモ亦保險セラレアル場合ニ於テハ賣價カ若シ評定價格ニ達セサルトキハ其賣價ニヨリテ(一)及(二)ノ規程ニ從ヒ填補セラルヘシ
- 馬匹保險ニ於テハ評定價額ノ八割ヲ填補スルモノトス去勢保險ニ於テハ其去勢ヲ實施スルニ先手組

合事務委員又ハ保險所ニ之ヲ通知シタル場合ニ非サレハ之カ填補ノ責ニ任セス分婉及其餘病ノ爲又ハ競馬場ニ於テ被保險馬ノ斃死ニ對スル損害ハ此等ニ對シテ豫メ特別ノ保險アラサリシ場合ハ之ヲ填補セス

保險所ノ承認ヲ經スシテ被保險馬ヲ撲殺シタルトキハ填補請求權ノ喪失ヲ來タスヘシ然レトモ特別ノ事情ニヨリ至急ヲ要スルトキハ保險所ノ承認ヲ須井ス獸醫又ハ馬醫的經驗ニ富メル蹄鐵工ノ承認ヲ以テ撲殺シタル場合ハ此限ニアラス但シ此等ノ人ノ承認ハ其撲殺ヲ寸時モ猶豫スヘカラサル事情ヲ明細ニ記載セル書面ヲ要スヘシ

左ノ場合ニ於テハ損害ヲ填補セサルモノトス

一、保險申込ノ際其所有家畜ノ實數ヨリ少數ヲ表示シタルトキ

二、家畜ノ斃死、負傷又ハ疾病ヲ戰爭、内亂又ハ火災ニヨリテ生シタルトキ

三、家畜カ流行病其他ノ疾病ニヨリテ斃レ又ハ撲殺セラレ國家カ之ニ對シテ法定ノ填補ヲ爲セルト

キ

四、牛畜カ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタルトキ被保險者カ組合事務委員又專門機關ノ指圖ニ反シテ之ヲ撲殺シタルトキ又ハ填補金ヲ得ンカ爲メニ保險所ノ承認ヲ經スシテ馬ヲ屠殺用ニ販賣シタルト

キ

五、流行病發生ノ際又ハ流行病ノ嫌疑アル場合ニ遲滞ナク通知ヲ爲サ、リシトキ或ハ密輸入又ハ傳染病豫防其他個々ノ場合ニ對スル規則及命令ニ從ハサリシトキ

六、下埃太利ニ輸入セラレ百八十日以内ニ屠殺セラレ又ハ結核病ニ罹リタルモノ

七、「ツベクリン」注射ニ關スル法令ノ存スル間被保險者ハ被保險牛畜ノ屠殺後又ハ斃死後其結核病

ニ罹リ居リシコト發見セラルヘキコトヲ知リナカラ豫メ下埃國州特別委員ノ承認ヲ經スシテ之

ニ「ツベクリン」注射ヲ爲シタルトキ

八、假令ト遲延ノ責ハ被保險者ノ任スヘキ所ニアラスト雖トモ該牛畜ノ罹病又ハ負傷ヲ遲滞ナク通

知セサリシトキ又ハ保險所、獸醫、若クハ蹄鐵工ノ承認無クシテ馬匹ヲ撲殺シタルトキ

九、被保險者カ其通知義務ヲ果サ、リシトキ

十、被保險者カ定款規定ノ保險料ニ關シ組合事務委員ヨリ書面ノ催促ヲ受ケテ後四週間以内ニ之ヲ

拂込マサリシトキ

十一、家畜所有者カ其病畜ノ取扱ニ關シテ與ヘラレタル指圖ニ違反シタルトキ

十二、家畜所有者又ハ其使用人カ故意ニ家畜ノ損害ヲ來タシタルトキ（即チ被保險家畜ノ飼養ノ不

良過度ノ使役又ハ被保險者其家族若クハ其使用人カ暴力ヲ加ヘ又ハ責檻シタルカ爲メニ家畜カ
罹病負傷又ハ斃死シタルカ如キ場合ヲ云フ

十三、保險申込書又ハ評價書類中ニ被保險馬匹又ハ所有總馬匹ノ用途ニ關シ惡意ヲ以テ不實ヲ申告
シ之カ爲メニ其危險相當ノ保險料ヲ定ムルコトヲ得サラシメタルトキ
損害ノ填補ヲ爲スヤ否ヤ又ハ填補ヲナスヘキ金額ハ之ニ關スル書類到着後四週間以内ニ保險所ニ於
テ之ヲ決定ス

保險所ハ之カ決定ニ際シ其書類ヲ更ニ補足セシメ又ハ必要アルトキハ特別調査機關ヲ設クルコトヲ
得

填補拒絶又ハ填補金額決定ニ關シテハ被保險者ハ下塊國州會委員ニ訴願スルコトヲ得但シ保險所ヨ
リ決定ノ通知ヲ受ケタル後七日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

填補スヘキモノニ非ストシテ決定セラタルトキニ於テモ場合ニヨリテハ州會委員ハ下塊國家畜保險
所理事ト協議ノ上定款規定ノ決定損害額ノ半額以内ノ金額ヲ特ニ交付スルコトアルヘシ斯ル交付金ハ
牛畜保險部又ハ馬匹保險部ノ保險所資金中ヨリ支出セラルヘシ

填補金ハ法定ノ税金ヲ差引キ保險所ニ於テ直接ニ交付セラルヘシ故ニ其送金ヲ請フモノニ對シテハ

送金手数料ヲ差引キ送金セラルヘシ

送金受授ニ關スル書類ハ總テ組合事務委員ヲ經由スヘキモノトス

填補金支拂後保險所ハ其填補責任ノ全部又ハ一部ニ誤謬アリシコトヲ發見スルトキハ其返還ヲ請求
スルコトヲ得而シテ返還請求ノ時効ハ填補金支拂後一ケ年トス

各評價委員ハ評價手数料トシテ一頭毎ニ二「クローネ」但シ在「ウッキン」馬匹保險區組合ニ於テハ四
「クローネ」ヲ給セラレ且下塊國州會委員ニ於テ定メタル旅費ヲ給セラレ

牛畜保險ニ在リテハ評價委員ニ給セラル、手数料ハ其地方組合ノ負擔トシ價格評定ニ關スル其他ノ
費用ハ州補助金四萬「クローネ」ノ内ヨリ其半額ヲ其他ハ保險所資金中ヨリ支出セラルヘシ

馬匹保險ニアリテハ價格評定ニ關スル費用ノ半額ハ保險所資金中ヨリ他ノ半額ハ其區組合資金中ヨ
リ支出セラル

馬匹保險ニ於ケル馬匹検査ニ對スル報酬ハ規定額ヲ保險所資金ヨリ支出セラル

告知義務 被保險者ハ其所屬組合事務委員ニ左ノ事項ヲ遲滞ナク通知スルコトヲ要ス

一、被保險畜ノ罹病又ハ負傷シタルトキハ其都度

二、斃死又ハ撲殺シテ被保險畜ノ異動アリタルトキ

三、被保險畜カ七日以上其土地ヲ離レタルトキ
左ノ事項ハ七日以内ニ通知スルコトヲ要ス

- 一、其所有數ニ異動ヲ生シ又ハ年齡カ被保險資格ニ達シ若クハ被保險資格ヲ失ヒタル爲メ被保險家畜數又ハ被保險資格アル家畜數ニ異動ヲ生シタルトキ
- 二、假令一定期間若クハ當分ナリトモ被保險馬匹ノ用途ヲ變更シ爲メニ危險ヲ増加スルカ如キ場合

被保險馬匹カ疾病ニカ、リ又ハ負傷シタルトキハ遲滞ナク獸醫又ハ馬醫ノ診療ヲ受ケ其指圖及ヒ組合事務委員ノ指揮ニ從フヘシ

成績
下埧國州家畜保險所ハ非常ナル好成绩ヲ舉ケタリ之レ州ヨリ經費其他ノ費用ニ對シ多額ノ補助ヲ受ケ爲ニ低廉ナル保險料ヲ以テ營業シ得ルニヨルナランカ

牛 畜 保 險

一八九九年	總 經 費	州ヨリノ補助金
	一一九、九一九	一〇八、七一一

一九〇〇年	九四、四八八	八五、〇一八
一九〇一二年	一二八、八二四	一四五、三三〇
一九〇二一三年	一四五、〇四二	一五四、〇四六
一九〇三一四年	一五五、七八三	一六〇、八五〇
一九〇四一五年	一六四、三一〇	一六二、四〇一
一九〇五一六年	一六八、七五四	一七五、八九九

馬 匹 保 險

	總 經 費	州ヨリノ補助金
一九〇一二年	一一八、二三〇	九二、九八一
一九〇二一三年	一三二、九六九	一〇一、三三三
一九〇三一四年	一五二、六八二	一一三、〇九六
一九〇四一五年	一六三、八七四	一二〇、四四九
一九〇五一六年	一九一、八〇九	一二一、三〇八

以上掲ケタル經費ヲ平均スレハ保險金額ニ對スル割合左ノ如シ

牛畜保險 千分ノ三、九
馬匹保險 千分ノ七、二

營業成績ノ概況左ノ如シ

牛畜保險部

營業年度	一九〇〇年	一九〇一年	一九〇二年	一九〇三年	一九〇四年	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年
地方組合數	六三	七二	七三	七五	七六	八〇	八四	八七
被保險畜數	三、七〇八	三、七三六	四、七四三	四、二六八	四、九八八	四、一七九	四、〇六九	五、〇七三
總保險金額	一三、八二三	一三、七三三	一四、八八九	一四、六六二	一五、八八八	一四、八五二	一五、六三〇	一六、九四〇
州内ニ於ケル牛畜ノ被保險率	二五、一八〇	二五、〇九〇	二五、三三三	二五、三三三	二五、三三三	二五、三三三	二五、三三三	二五、三三三
組合員酬金	二二、〇三三	二二、三三三	二四、五一一	二四、二六	二四、〇四	二四、〇四	二五、四四七	二七、三四
(保險料其他)	二四、六五四	二七、九六三	報告ヲ缺ク	四三、五九九	四七、〇七四	四八、五三〇	五〇、〇五〇	六〇、六六四
償補金及費用	三七、八〇一	四五、七八三	報告ヲ缺ク	七四、七八四	六八、七九八	七二、一五三	八六、四六七	一〇、一九〇九
雜收其他	一四、二〇七	一三、一四一	一三、一四一	二七、〇五四	二六、〇六三	二八、〇六一	三二、〇〇九	三九、二二五
年未現在保險料準備金	二六、〇四一	一三、七七一	一三、七七一	九四、五四八	一一、一〇五	一五、二七五	一九、九五七	二六、四二六
地方組合準備金	三〇、八一〇	三四、九〇七	三四、九〇七	三七、四七六	四九、二五一	六〇、二〇四	五九、二九一	六五、三五二

馬匹保險部

營業年度	一九〇〇年	一九〇一年	一九〇二年	一九〇三年	一九〇四年	一九〇五年	一九〇六年
地方組合數	五〇四	五二七	五七二	六三三	六七五	七二一	七五一
被保險畜數	九、一五一	九、九三四	一一、九八三	一三、八〇三	一六、二五八	一八、三四七	二〇、六六四
總保險金額	二、六三六	二、八〇二	一、七七八	一、七九九	二、二二五	二、三八〇	二、六四七
州内ニ於ケル馬畜ノ被保險率	一八、〇	一七、七	二一、六	二四、四	二八、三	三二、三	三三、九
組合員酬金	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	四九、三六四	五〇、四九七	五五、〇九八	六三、〇四五
(保險料其他)	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	三三、〇三五	三三、〇三五	四九、五二四	五九、一八八
償補金及評價費用	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	三三、六八四	三三、六八四	四九、五二四	五九、一八八
屍骸其他雜收入	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	二七、三二二	三九、三六〇	五五、八四八	七八、一七一
年未現在保險料準備金	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	七六、八九五	八二、三五九	九四、五八八	八九、二六三
地方組合準備金	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	報告ヲ缺ク	一〇九、一三三	二五、九〇九	三五、四二〇	四〇、三三七

第三章 匈牙利國相互家畜保險組合

匈牙利地方農會ノ發議ニ基キ千八百九十八年同王國全部ニ跨リ家畜保險ヲ營ムコトヲ目的トスル有

限責任組合組織セラレ之ヲブタベストニ置キ在ブタベスト匈國相互的家畜保險組合ト名ケタリ
本組合ハ全ク私設ニシテ基金二千口ヲ有シ各口百「クローネ」全額拂込ニシテ官公署ヨリ毫モ補助ヲ
受ケス

營業ノ範圍 被保險家畜ノ死亡又ハ撲殺ニヨル損害保險、家畜カ火災ニ罹リ他ノ保險會社ヨリ損害
ヲ填補スルモノナキ場合ニ於ケル損害保險、去勢保險、競馬、運送又ハ共進會中ニ生スヘキ損害保險并
ニ再保險ヲモ營ムモノトス

保險ノ申込アルトキハ先ツ獸醫ヲシテ其家畜ノ健康情態ヲ診査セシメ又其保險價額ヲ評定セシム保
險價額ハ組合理事之ヲ決定スルモノトス

保險期間中ハ何時ニテモ組合ハ其被保險家畜ヲ検査シ又之ニ基キ其保險金額ヲ變更スルコトヲ得
家畜ハ其種類ヲ問ハス總テ保險セラレ得ヘキモ六ヶ月未滿ノ角畜、十二ヶ月未滿ノ馬、健康ナラス又
ハ缺點アリテ其利用充分ナラサルモノ并ニ最近六ヶ月以内ニ傳染病流行シタリシ地方ニ在リシモノハ
保險セラレ得サルモノトス

保險ヲ申込ニハ同種ノ家畜ニシテ被保險資格アルモノハ全部之ヲ保險ニ附スヘキモノトス組合ハ申
込マレタル家畜ノ全部又ハ一部ノ保險ヲ拒絕スルコトヲ得但シ拒絕ノ理由ヲ示スコトヲ要セス

家畜ノ増減アルトキハ其都度之ヲ組合理事ニ通知スヘキモノトス

王國內ノ家畜所有者ハ總テ組合ノ承認ヲ經テ組合員ト爲ルコトヲ得、各組合員ハ少クトモ基金一口
ヲ所有シ百「クローネ」ヲ拂込ムコトヲ要ス各組合員ハ何時ニテモ脱會スルコトヲ得但シ其事業年度ノ
終ルマテハ組合員タルノ義務ヲ盡スヘキモノトシ又入會後最初ノ二年間ハ退會スルコトヲ得ス

保險料ハ組合理事ヨリ定メラレタル額ヲ一年分ツ、前納スヘキモノトス
保險料ハ其危險ノ種類ニヨリテ左ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ム

牝牛 保險金額ノ三「パーセント」乃至五「パーセント」

牡牛 保險金額ノ三「パーセント」

種牛 公共團體所有ノモノ 保險金額ノ四、二「パーセント」

種牛 私有ノモノ 保險金額ノ五、五「パーセント」

種馬 公共團體所有ノモノ 保險金額ノ六、六「パーセント」

種馬 私有ノモノ 保險金額ノ七、五「パーセント」

農業用馬 十歳以下ノモノ 保險金額ノ五、五「パーセント」

農業用馬 十歳ヲ超ヘタルモノ 保險金額ノ六、五「パーセント」

牽引用又乗用ニ供セラル、モノ其他特別危険ノモノハ前記ノ割合ノ外ニ保険金ノ二分ノ一「パーセント」乃至三「パーセント」ノ範圍ニ於テ割増保険料ヲ課セラルヘシ
保険料ノ外ニ要セラルヘキ雜費ハ

(一) 診査及評價費用

十九頭マテハ各頭ニ付五十「ヘラー」

二十頭乃至
三十九頭ナルトキハ各頭ニ付三十「ヘラー」

四十頭以上ナルトキハ各頭ニ付二十「ヘラー」

(二) 法定ノ印紙税

(三) 流行病發生ノ際組合カ爲ス豫防注射ニ要スル費用

組合ノ收入若シ支出ニ對シ不足ヲ生スルトキハ準備金ヨリ之ヲ填補シ猶不足ナルトキハ之ヲ組合員ヨリ追徴スルモノトス但シ追徴金ハ其年度内ニ各組合員カ納付シタル保険料額ヲ超ユルコトヲ得ス

組合ノ填補責任ハ保險證券ノ日付後十五日ノ正午ニ始マル

家畜カ疾病ニ罹リタルトキハ遲滞ナク獸醫ノ診療ヲ受ケ損害ヲ成ルヘク輕少ナラシムル様勉ムヘク且罹病後二十四時間内ニ之ヲ組合ニ通知スヘシ

一部落(自治團體)内ニ傳染病發生シ豫防注射ノ必要アルトキハ本組合之カ施行ノ責ニ任スヘシ注射

スヘキ血精ハ組合ヨリ無代ニテ交付シ注射ニ要スル費用ハ被保險者又ハ組合ノ負擔トス

家畜カ斃死シ又撲殺セラレタルトキ其利用セラルヘキ部分ノ利用ハ被保險者之カ責ニ任スヘク屍骸ハ之ヲ組合ニ引渡スヘシ然レトモ組合カ自ラ其利用ヲ實行スルコトヲ妨ケス此場合ニハ組合ノ指圖人ニ被保險者ハ十分ナル補助ヲ與フルコトヲ要ス

組合ハ保險金額ノ十分ノ八ヲ填補スルト雖トモ其保險料年額ヲ差引キ其殘額ヲ支拂フハシ屍體ハ組合ノ所有トス

組合ノ決算ハ毎年十二月末之ヲ行ヒ剩餘金アルトキハ之ヲ左ノ如ク處分ス

(一) 百分ノ二十 賞與金

内

- 百分ノ八 理事
- 百分ノ二 監事
- 百分ノ四 事務長
- 百分ノ二 獸醫長
- 百分ノ四 組合事務員

百分ノ五 準備金
百分ノ六 基金利子

(二) 以上三項ヲ差引キタル殘額ノ二分ノ一ヲ被保險者ニ對シテ其拂込保險料ニ比例シテ分配シ
四分ノ一ヲ基金利子トシテ配當シ又四分ノ一ヲ準備金トシテ積立ツヘシ

準備金カ二十萬「クローネ」ニ達シタルトキハ積立金ニ充ツヘキ剩餘金ヲ以テ基金ヲ償却スヘク其償
却ヲ終リタルトキハ剩餘金ノ三分ノ一ハ積立テ其餘ノ三分ノ二ハ之ヲ被保險者ニ配當スヘシ

組合ノ機關

(一) 理事 理事ハ七人乃至十七人トシ總會ニ於テ之ヲ選舉シ其任期ヲ五ケ年トス各理事ハ其就職ニ
先テ五口ノ基金證券ヲ組合ニ供託スヘシ

理事ハ普通保險約款、保險料表ヲ議定シ組合ノ事務ヲ總轄シ事務長獸醫長其他ノ事務員ヲ置キ
事務ヲ司ラシム

理事ハ互選ニヨリ理事長一人副理事長二人ヲ定ム

理事會、監事會又ハ總會ノ議長ハ理事長若クハ副理事長之ニ任ス

(二) 監事 監事ハ三人乃至七人トシ毎年總會ニ於テ之ヲ選舉ス

監事ハ理事ヲ監督シ組合ノ帳簿及ヒ財産ヲ考査シ每年少クトモ一回檢査ヲ實行スヘキモノトス
各監事ハ其就職ニ先テ二口ノ基金證券ヲ組合ニ供託スルコトヲ要ス

(三) 總會 總會ハ總組合員ヨリ成リ每年少クトモ一回ハ開カルヘク而シテ事業年度末後三ヶ月以內
ニブダベストニ招集セラルヘシ

臨時總會ハ理事ニ於テ其必要ヲ認メタルトキ又ハ組合總員ノ十分ノ一以上ノモノ、請求アリタ
ルトキハ之ヲ招集ス

決議ハ多數決ニヨル若シ同數ナルトキハ議長之ヲ決ス但シ議長ハ自己ノ議決權ヲ有セス

成績

本組合ハ次表ノ示ス如ク漸次發達ヲ爲セリト雖トモ遅々トシテ未ダ設立當時ノ豫想ニ副フコトヲ得
ス

千九百六年ノ家畜調査ニヨレハ王國內ノ家畜數左ノ如シ

牡^キ牛 四四、七〇六

同幼牡牛 一二九、九三八

牝牛 二、三九四、四九八 五、六二四、二八五

牝牛 一、〇八八、九二九
 仔牝牛 八六六、八四〇
 仔牝牛 一、〇九六、三七四
 馬 一、七八四、六六三

此等ノ家畜中保險セラレ居ルモノハ千九百六年ニ於テ牛畜ニアリテハ僅カニ其千分ノ五、五(仔牛ヲ除ケハ千分ノ八、八トナル)ナルモ馬畜ニアリテハ猶僅少ニシテ只千分ノ一、二ニ過キス

事業ノ成績モ亦餘リ佳良ナラス準備金トシテ積立得タルモノ僅カニ五百八十二「クローネ」ニ過キス

組合員ニ對シテ未タ追徴ヲ爲シタルコトナシト雖トモ千九百一年ニハ六萬三百十二「クローネ」ノ缺損ヲ來タシ之ヲ漸次繰越シ千九百六年末ニ至リテ猶五萬千二百九「クローネ」ノ缺損ヲ次年度ニ繰越シタリト云フ

經費ヲ要スルコト比較的多キハ私設會社ヲ以テ斯業ヲ營ムモノ、常ニシテ本組合ニ於テモ亦保險料ノ約四割八分即チ保險金額ノ千分ノ六、七ヲ要スルヲ見ル
 千九百一年以後ノ成績左ノ如シ

年 度	一九〇一年	一九〇二年	一九〇三年	一九〇四年	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年
被保險家畜總數	二七〇〇	五、三三三	三、九一〇	二、八三五	二、〇〇七	二、二二四	一、八五三
保險金總額	一五、六七三	二二、三三三	二九、三〇三	二八、一四七	二九、六三三	三二、三三三	三二、八八九
保險料及雜費	一八、三三三	二八、五三三	三三、二二二	三〇、九七二	三二、九八六	三三、三一一	三五、〇〇六
再保險料及雜費	五、〇二八	七、三九四、〇	九、三三三	一〇、一五三	一〇、六七〇	一一、七六三	一二、九五〇、一
支拂填補額	二〇、四三〇	二二、三三〇	一九、六九六	一六、七五四	一五、八二五	一七、四四五	二二、三三九
其他	八〇、五七	八、七二六	一四、〇三五	一五、六二七	二四、〇八一	二四、五五二	二二、〇三三
準備金額	二四、六六	二二、五五八	三六、五〇三	六九、三七五	四九、二六八	六四、五五〇	七五、〇六八
準備金額	五六六	五七六	五七六	五八二	五八二	五八二	五八二



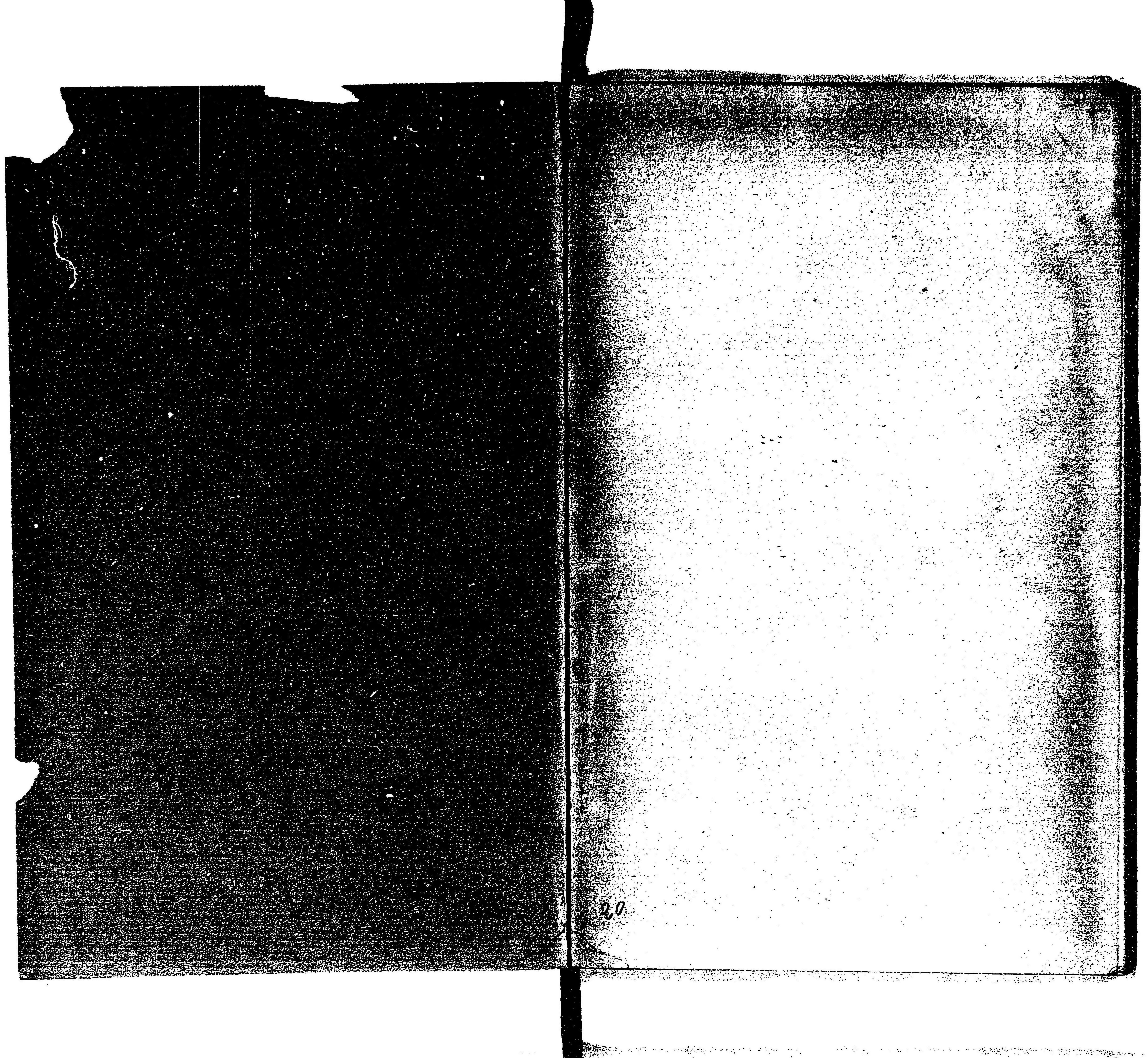
明治四十四年三月廿三日印刷
明治四十四年三月廿七日發行

生產調查會

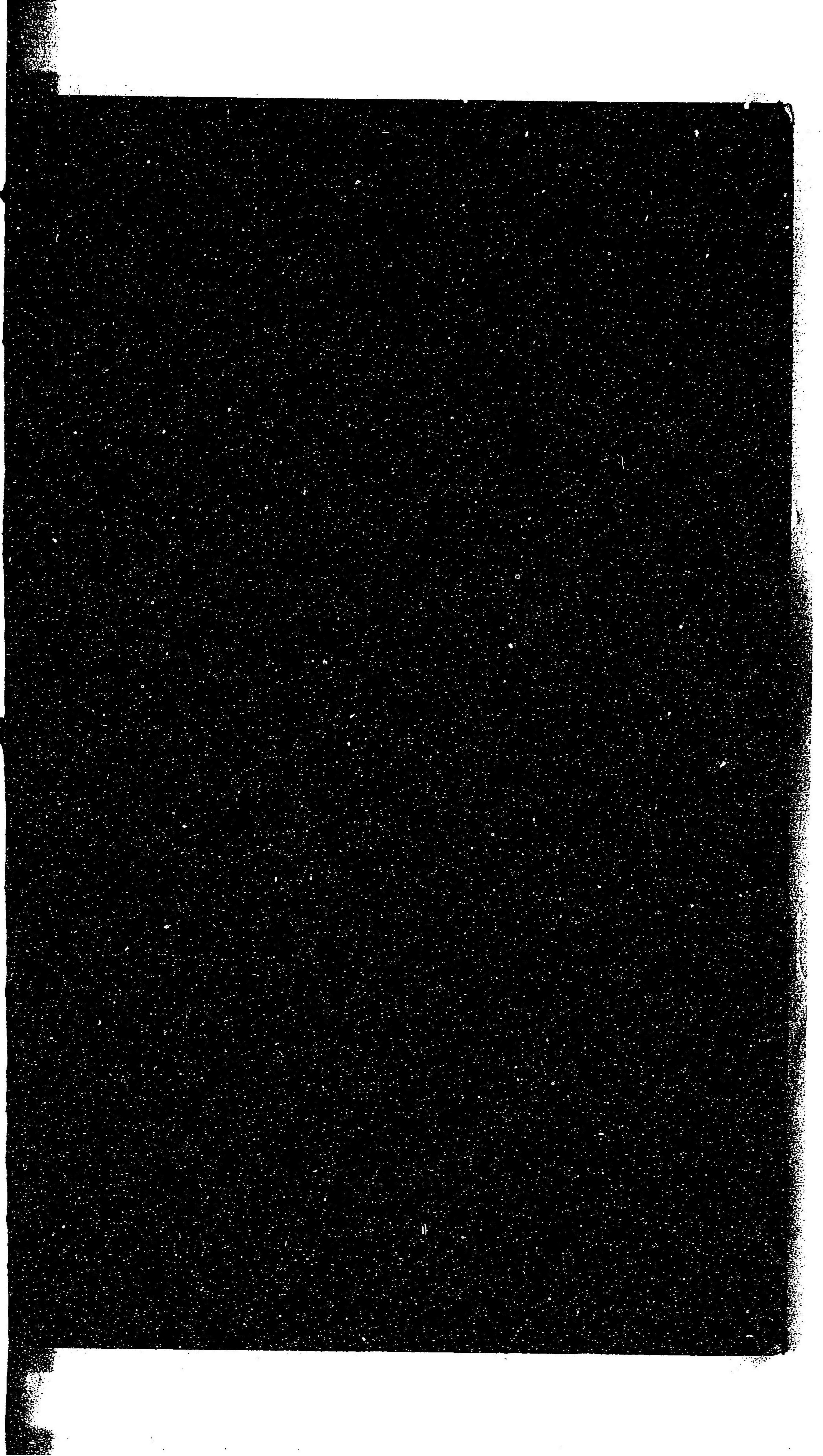
印刷者 小川邦孝
東京市京橋區瀧山町七番地

印刷所 東京製本合資會社
東京市京橋區瀧山町七番地

電話新橋 (三九五番)
(三三四一番)
(四九三七番)



27
442



327
442

042877-000-2

327-442

仏壇及何国ニ於ケル家畜保険

生産調査会

M44

BDJ-0600

